

第七十五回 帝國議會院

所得稅法改正法  
律案外三十件 委員會議錄(速記)第十八回

會議  
昭和十五年三月七日(木曜日)午前十時四十  
五分開議  
出席委員左ノ如シ

河野	理事
密君	中島彌團次君
五郎君	伊藤
中君	船田
三郎君	山川頼
市君	森田
孝吉君	上田
肇君	森
一君	西川
徳久次君	石井
五郎君	川崎末
四郎君	本甚

出席國務大臣左ノ如シ	大藏大臣	鈴木英雄君
	櫻内幸雄君	田万清臣君
	石坂繁君	
武田徳三郎君	北勝太郎君	
道家齊一郎君		
義雄君		
松永		
武田徳三郎君		
出席國務大臣左ノ如シ		

府委員左ノ如シ  
大藏政務次官 木村 正義君  
大藏參與官 桜田 正一君  
大藏省主稅局長 大矢半次郎君  
大藏書記官 山田 田中 豊君  
預金部資金局長 廣瀬 義見君  
農作君



○大矢政府委員 實際ニ交付スル場合ニハ

○森田委員

或ル程度段階ヲ付ケヨウト思ツテ居リマス、而シテ全國ヲ平均致シマスト、百分ノ一・五

トナル次第アリマス

○森田委員 私ハ斯ウ考ヘル、交付金ハ正式ニ百分ノ三ナラ三ノ平均ニナルヤウニヤル、其ノ代リ税ノ方ハ客カラ取上ゲルコトハ明確ニ取上ゲテ居ル、是ハ不足セヌヤウ

ニヨリ以上取ツテ居ルカラ、是方國家へ納

マツテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、

吾々ハ勿論疑問ガアル、全額ガ果シテ國庫

ヘ納マツテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ少クモ是ハ疑問ト思ツテ居ル、此

求書ト同型ノ物ヲ店ノ方へ残サスヤウニシ

テ行クカ何カシテ、其ノ點ハ税金ヲ客カラ

取ツタモノハ、ソツクリ其ノ儘國庫へ納メ

サスヤウニサセテ、同時ニ交付金ト云フモ

ノハ勅令ニ定メル通り、百分ノ三ヤルト云

フヤウナ風ニ明確ニ願ヒタイト思ヒマス、

手數料ヲ値切ツテ其ノ代リ客カラ取ツタ税

ガ國庫へ納マラスト云フコトニチツタラ、

私ハ結果ニ於テ何ニモナラスト思ヒマス、

其ノ點ヲ特ニ御留意願ヒタイ  
ソレカラ免稅點ノコトニ付テハ、他ノ委員カラ屢々述べテ居ラレマスカラ、私ハ略シタイト思ヒマスガ、「カフエー」ト云フニモ色々アルガ、田舎デハ「カフエー」ト云フ看板ヲ掛ケタ方ガ客が多ク入ルカラ、「カフエー」ト云フ看板ヲ掛ケタ方ガ客が多ク入ルカラ、「カフエー」ト云フ

是ハ免稅點ヲ設ケタ方ガ宜イト私ハ思フ、

○大矢政府委員 遊興税ノ徵收ニ當リマシ

テハ微稅ヲ補助スル團體ヘノ交付金ヲ百分ノ一・五ト致シテ居リマスガ、御承知ノ通り十五年度ノ豫算ト致シマシテハ、一億圓以上ト見テ居ルノデアリマシテ、交付金ハ全式ニ百分ノ三ナラ三ノ平均ニナルヤウニヤル、其ノ代リ税ノ方ハ客カラ取上ゲルコトハ明確ニ取上ゲテ居ル、是ハ不足セヌヤウニヨリ以上取ツテ居ルカラ、是方國家へ納マツテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、

吾々ハ勿論疑問ガアル、全額ガ果シテ國庫ヘ納マツテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ少クモ是ハ疑問ト思ツテ居ル、此求書ト同型ノ物ヲ店ノ方へ残サスヤウニシテ行クカ何カシテ、其ノ點ハ税金ヲ客カラ取ツタモノハ、ソツクリ其ノ儘國庫へ納メサスヤウニサセテ、同時ニ交付金ト云フモノハ勅令ニ定メル通り、百分ノ三ヤルト云フヤウナ風ニ明確ニ願ヒタイト思ヒマス、手數料ヲ値切ツテ其ノ代リ客カラ取ツタ税ガ國庫へ納マラスト云フコトニチツタラ、私ハ結果ニ於テ何ニモナラスト思ヒマス、其ノ點ヲ特ニ御留意願ヒタイ  
ソレカラ免稅點ノコトニ付テハ、他ノ委員カラ屢々述べテ居ラレマスカラ、私ハ略シタイト思ヒマスガ、「カフエー」ト云フニモ色々アルガ、田舎デハ「カフエー」ト云フ看板ヲ掛ケタ方ガ客が多ク入ルカラ、「カフエー」ト云フ看板ヲ掛ケタ方ガ客が多ク入ルカラ、「カフエー」ト云フ

此ノ委員會ニ御示シヲ願ヒマス、ソレニ依

ツテ話ガ決マル、ソレカラ是ハ主税局長デ

ナク大臣ニ御伺シタイノデスガ、今マデ五

十一年度ノ豫算ト致シマシテハ、一億圓以

上ト見テ居ルノデアリマシテ、交付金ハ全

國ヲ通ジマシテ百五十万圓以上ニナリマシ

テ、大分大キナ金額ニナルノデアリマス、

是ハ從來酒造税、織物消費税等ノ徵收ニ於

キマシテ、是ガ補助ヲ爲シテ居リマスル團

體ニ對シテ、交付金ヲ交付シテ居ルノデア

リマスガ、是等ト比較致シマシテ非常ニ其

ノ割合ガ多イノデアリマス、併シ遊興飲食

稅ノ徵收ニ付キマシテハ相當ノ困難ガアル

點ト、更ニ地方稅トシテ徵收シテ居タル時ノ

沿革等ニ顧ミマシテ、餘程思切ツテ交付金

額ヲ多ク計上シテ居ル積リデゴザイマス、

ウカト云フ御尋ニアリマスガ、度々申上げ

マシタ通り、所謂「カフエー」等ニ於キマシ

テエ」ニ付キマシテ免稅點ヲ設ケタラド

ノカト云フ御尋ニアリマスガ、度々申上げ

マシタ通り、所謂「カフエー」等ニ於キマシ

テハ、大體「チップ」制度ニナツテ居リマシ

テ、是ハ藝妓ノ花代類似ノモノニアリマス、

ウカト云フ御尋ニアリマスガ、度々申上げ

マシタ通り、所謂「カフエー」等ニ於キマシ

テハ、大體「チップ」制度ニナツテ居リマシ

テ、是ハ藝妓ノ花代類似ノモノニアリマス、

ウカト云フ御尋ニアリマスガ、度々申上げ

マシタ通り、所謂「カフエー」等ニ於キマシ

テハ、大體「チップ」制度ニナツテ居リマシ

テ、是ハ藝妓ノ花代類似ノモノニアリマス、

ウカト云フ御尋ニアリマスガ、度々申上げ

○森田委員 此ノ税金ハ斯ウ云風ニヤラレル御考ハアリマセヌカ、今ノハオ客カラ取ルノデ非常ニ手數ガ煩瑣ダシ、色々ナ面倒ガアルノデアリマス、是ハ止メル稅ヂヤナイト思ヒマスカラ、外形稅ニシテ販賣稅ト云フヤウニシテ行ケバ、徵稅スル方モ納メル方モ、客カラソレダケノ割合ノ稅金ヲ納メレバ宜イカラ非常に樂ニナル、料理店トカ旅館トカ云フヤウナモノハ、之ニ對シテ遊興飲食稅ト云フ名前デモ宜シイ、今マデ七圓付ケテ居ツタモノハ七圓七十錢ト云フコトニシテ客ノ方ニハ一本デ付ケテシマツテ居リマスト、從來ノ通り例ヘバ五圓ノス、其ノ點ハ常識上ドウ御考ニナリマスカ

○櫻内國務大臣 食ベテ居ル同ジ御馳走ニケル免稅點以外ニ、適當ナ標準ヲ設ケマシテ、普通ニ言ハレテ居ル「カフエー」ト食堂類似ノモノトノ間ノ分界ヲ付ケテ行ツタナラ適當デハナイカト思ヒマシテ、目下考究中デゴザイマス

○森田委員 其ノ考究セラレタモノヲ早ク

○櫻内國務大臣 食ベテ居ル同ジ御馳走ニ

對シテ、課稅ヲ致スト云フコトニ根本ガ定ツテ居リマスト、從來ノ通り例ヘバ五圓ノ料理モ、其ノ儘同ジヤウナ料理ヲ基準トシテ課稅ヲ致スト云フコトニナレバ、森田サノ仰セノ通りデアリマシテ、其ノ五圓ノ

料理ガ今ハ六圓出サナケレバ食ベヌト云フ

五分ト云フモノハ、販賣稅ト云フカ何ト云フ

カ元ノ營業稅ノ如キ外形稅ニシテ、儲ケテ居ラウガ居ルマイガ、販賣稅ト云フモノヲ

取ツテ行クト云フコトニシテ行ケバ、徵稅モ納稅者モ頗ル簡単デ宜イデハニカ、簡單ニシテ行クニハソレガ一番宜イデハナイカト考ヘル、今ノヤウナヤリ方ハ煩瑣デ、客ニツケヲ出スニモ、料理ノ方ト藝妓ノ方ト別口ナ二通リノ稅ヲ付ケテ持ツテ行カナケレバナラナイ、又稅務署ヘ持ツテ行クニシテモ、翌月ノ十日マデニ持ツテ行クニハ、其ノ帳面ヲ記スニモ人ヲ雇ハナケレバ出来ナイ、赤坂ナドニハサウ云フ書記マデ出来テ居ル、ダカラサウ云フコトデハナク、今私ガ言ツタヤウナ方法ガ、一番簡単ダト思ヒマスガ如何デスカ

○森田委員 遊興稅問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キマス、ソレカラ是ハ小笠原君カラ問題ニセラレ、其ノ他ノ委員カラモ出タノデアリマシテ、又ソレバカリデナク下級ノ飲食ヲシタ人ニモ、課稅ヲ致スヤウナ結果ヲ齎スノデアリマシテ、今ノ贅澤ナ飲食ヲスル人ニ課稅スルト云フ方針トハ少シ變ツテ來ルト思ヒマス

○櫻内國務大臣 一應御尤モデアリマスガ、ソレハ營業稅ノヤウナ感ヲ與ヘルコトニナリマシテ、又ソレバカリデナク下級ノ飲食ヲシタ人ニモ、課稅ヲ致スヤウナ結果ヲ齎スル人ニ課稅スルト云フ方針トハ少シ變ツテ來ルト思ヒマス

シタガ子ヤ孫ニハ貧乏サセタクナイカラ、自分ハ食フ物モ食ハズ、著ル物モ著ズニ辛抱シテ残シテヤル、殘シテヤレバ子孫ガ生活ノ安定ヲ得ラレルト云フヤウニ、從來ノ日本ノ仕來リハサウヤツテ來タノデアリマスガ、今度ノヤウナ高率ナ相續稅ヲ課シテ行クコトニ依ツテ、三代ハオロカノコト二代目デモ駄目ダト思フ、今度ノ稅率ニ依ツテ稅金ト云フモノハ皆現金デ納メルガ、自分ノ財產ヲ全部處分シタカラト言ツテ、或ル程度ノ金額デハ稅額ハ調ヒマセヌ、廣島ノ三篠デ、稅務署ノ人ナラ知ツテ居ルト思ヒマスガ、彼處デ十二三万圓ノ相續ノ決定ガセラレ、其ノ稅額ガ約三万圓バカリダツタト記憶シテ居リマスガ、其ノ三万圓ノ稅金ヲ納メル爲ニ高利貸カラ金ヲ借りリテ、全部ノ相續財產ヲ擔保ニ入レテ居ツタモノガ、遂ニ四五年經ツテ、處分サレタ、其ノ處分ノ結果ハ稅務署ガ三万圓ニ評價シタ已斐ノ山ガ、儲カ五千三百幾ラデ競賣ニナツタデセウ、サウ云フ風デ評價ニ非常ニ無理ガアリマシテ、三四万圓ニ評價シタモノノ中デモ、サウ云フコトガアルノデアリマスカラ、遂ニ此ノ人ハ破産ヲシテ、今デハ一株式店ノ註文取ヲシテ居リマス、親ガ僅カナニ僅カノ財產ナンカ残シテハイカスト云フコトヲ言ヒ觸ラシテ歩イテ居ルガ、是等ハ云フ酷イ目ニ遭ツテ居ル、今後ハ親ハ子供云フヤウナ制度ハ立テヌ方ガ宜イ、物納間稅務署ガ如何ニモ苛酷ニ相續財產ノ價格ヲ決定スルカラ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、私ハヤハリ希望ヲ持タセ樂シミヲ持タシテ國家ノ爲ニ働く方ガ宜イト思フ、ソレニハ一代限リデ取上ゲテシマフト云フ

題ガ屢々問題ニナツテ居リマスガ、英吉利ナ  
ドデハ、私ガ昭和五年ニ行ツテ調ベタ時  
ニハ、物納制度ニナツテ居ツテ物納ガ少イ、  
ナゼ少イカト言ツテ問ウテ見タラ無理ナ評  
價ガナイ、無理ニ物ヲ持ツテ行ツテ納メヌ  
デモ、自分で財産ヲ處分シテ税金ヲ納メル  
ノガ樂ダカラ物納ニセヌノデス、物納ヲヤ  
ルト云フコトハ政府ノ評價ガ高クテ、自分  
デ自分ノ財産ノ處分ガ出來ヌ時ニ、初メテ  
物納ト云フモノヲ申出ルヤウニナツテ居  
ル、物納ノ申出ガ少イト云フコトハ、自分  
ノ財產ヲ稅務署ガ評價シタ金額ヨリモ、他  
ニ賣ツタ方ガ高ク賣レルカラ、他ノ方面ニ  
處分ヲシテ現金ヲ納メテ居ルノデアル、斯  
ウ云フコトヲ言ツテ居リマシタガ、日本モ  
サウナツテ吳レレバ、今ノ税率ニアツテモ相  
當緩和サレルノデ、物納ヲ認メテ行ク、其  
ノ物納ノ價格ハ稅務署ノ評價價格ニ依ル、  
先般大藏大臣デアツカ、政府委員デアツ  
タカ分リマセヌガ、物納ト云ウテモ、同じ  
土地デモ表ト裏ガアルカラト仰シヤツタ  
ガ、其ノ通リデス、併シ是ハ一筆毎ノ納付  
ニヤツテ行ケバ宜イ、過不足ハ五千圓ト稅  
務署ガ評價シタモノヲ一筆毎ニ物納スル、  
若シ餘リガアツタラ返シテ貰ツテ、足ラナ  
ケレバ添ヘテ出セバ宜イ、表ダケ切取ツテ  
置イテ、裏ハ殘シテ置クト云フヤウナ物納  
ノヤリ方デハアリマセヌ、評價ニ依ツテ、ソ  
レヲ金ニ換算シテ納メルノデスカラ、其ノ  
點デ不可能ノコトデハアリマセヌ、デアル  
カラ日本ノ從來ヤリ來ツタ所謂家族制度ノ  
機構ヲ、日本主義トシテ宜イモノト認メル  
ナラバ、之ヲ繼續サスニハ、親ノ汗水流シ  
タ結昌ハ、其ノ恩典ガ子ニ行届クヤウニシ  
ナケレバナラヌノデハナイカ、今ノヤウナ

方法デハ大體一代デ取上ゲテシマフト云フ  
コトニナルカモ知レマセヌガ、今申上ゲタヤ  
ウニ税務署ノ評價ハドウシテモ高イカラ、  
實際ノ市場ヘ出シテ賣ル譯ニハイカラ、大臣  
臣ノ郷里ナドモ田畠ア灿ヲ僅ニ二反トカ三  
反トカ處分スル時ニハ可ナリノ値段ニ賣レ  
ルガ、一時ニ何万圓ノ金ヲ調達シヨウトシ  
テ、何町、何十町歩ノ田地田畠ヲ處分シヨウ  
ト思ツタラ、到底税務署ノ評價ノ價格ヲ以  
テ處分スルコトハ出來マセヌ、此ノ時ニ初  
メ物納ト云フモノニ依ツテ、調節ヲ執ツ  
テ行クヨリ外ニ方法ハナイ、此ノ税率ヲモウ  
少シ下ゲテ實際ニ相續ガ出來ルヤウニシテ、  
本當ニ何程力遺産ガ貰ヘルヤウニシテヤルカ、  
カ、サウデナケレバ物納ヲ認メテヤルカ、  
其ノドチラカニシナケレバ、此ノ相續稅ノ  
改正ニ依ツテ將來非常ニ禍根ヲ貽スコトニ  
ナルト思フノデアリマス、ソレデモ宜シイ、  
國庫ノ目先ノ增收ヲ圖ル爲ニ、斯ウ云方  
法ガ宜イト仰シャレバ、又是ハ別ナ問題デ  
スガ、大藏大臣ノ眞ノ御考ヲ一つ御聽カセ  
願ヒタイ

レデ其ノ財産ガ直グ潰レルト云フヤウナコ  
トハナイト思ヒマス、一万圓ノ相續ヲシテ  
百圓納メルト云フコトハ、御話ノヤウニサウ  
苛酷デハナイト思ヒマス、假ニ二十万圓ト致  
シタ所デ、十万圓デ四千圓、五万圓デ千圓  
ト云フ譯デアツテ、五万圓ノ資産ヲ讓リ受  
ケテ千圓ヲ納メルト云フコトハ、私ハサウ  
苛酷デハナイト思フ、ソレカラ此ノ法律ニ  
依リマスト、半分以上ガ不動産ノ場合ニ於  
テハ十年間ノ分納ヲ許シテ居リマスシ、五  
年ノ間ニ又相續ガ起ツタ場合ニ於テハ前ノ  
分ダケ免稅ヲスルトカ、七年ノ場合ニハ前  
ノ分ノ二分ノ一ヲ免ズルト云フコトニナツ  
テ居リマシテ、家族制度ノ問題ニ對シテモ  
相當考慮ガ拂ツテアルト思ヒマス、唯、今  
御話ノ物納ノ問題デアリマスガ、是ハ十分  
ニ付テハ可ナリ準備ヲ要スルシ、又研究モ  
研究スベキコトデアルシ、私共モ平素ヨリ  
此ノ問題ニ對シテハ深キ關心ヲ持ツテ居リ  
マス、唯其ノ手續ガ非常ニ面倒ナノト、實行  
ニ付テハ可ナリ準備ヲ要スルシ、又研究モ  
積マナケレバナラヌコトガ多々アルト思ヒ  
マス、今廣島縣ノ例フ御話ニナリマシタガ、  
評價ノ方法ニ付テハ、森田君ノ御話ノヤウ  
ナコトガ多々アリハシナイカト云フコトヲ  
シテモ最モ適正ニサセルト云フコトが必要  
シテ居ル、隨テ此ノ評價ニ付テハ、ドウ  
シテラウト思ヒマス、勿論審査ヲ請求シテ審  
査委員會ニ掛ケテ、ソレヲ直シテ貰フトカ  
云フ方法モアリマスケレドモ、サウ云フコ  
トハ中々手數ナコトデアルカラ、此ノ評價  
ヲ決定スルニ付テハ、十分適正チ價格ガ直  
グニ出ルヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラヌ  
ト考ヘテ居リマスノデ、本法運用ニ關シテ  
ハ其ノ點ニ付テ篤ト注意ヲ拂ツテ行キタイ

○森田委員 是ヲ審査委員會ニ持ツテ行ク  
ヤウナコトハ而倒グ、持ツテ行カヌ方ガ宣  
イト云フナラ、物納ヲ認メルカ、ソレデナ  
ケレバ相續財產評價委員會モ作ツテ、納  
稅義務者カラモ委員ヲ出シ、稅務署ノ人ガ  
立會フノモ宜シイガ、兎ニ角四五人ノ人ガ  
寄ツテ相續財產ノ評價ヲ公正ニヤルト云フ  
方法ハ出來ナイモノデアリマセウカ、其ノ  
點ハドウ御考デアリマスカ

○櫻内國務大臣 評價委員會ノヤウナモノ  
ヲ各稅務署ニ設ケテヤルコトモ、一ツノ方  
法デアリマセウ、併シ御承知ノ通り財產ヲ  
持ツテ居ル者ハアツチコツチニ持ツテ居リ  
マスシ、評價委員ガアツチコツチヘ行ツテ、  
總テ調べルト云フコトモ容易ナコトデハア  
リマセヌノデ、評價委員會ノ問題ヲ直チニ  
實行シ得ルカドウカト云フコトハ、私今此  
處デ言明致シ兼ネマスガ、其ノ評價ニ付テ  
ハ適正ナ價格ヲ得ルヤウニ、何等カノ方法  
ヲ講ジタイト云フコトハ、私現在考ヘテ居  
リマス

○森田委員 ソレハ御考慮置キヲ願ビマス、  
ソレカラ如何ニモ稅ガ安イヤウニ仰シヤツ  
タガ、五百万圓以上ノモノハ、一番高イノ  
ハ千分ノ四百五十デアルカラ隨分高イ、千  
分ノ四百五十ト云フット、千圓ニ對シテ四百  
五十圓デ可ナリ大キナ額デアル、最低ノ方  
デモ直系卑屬ノ相續スル場合デモ、千分ノ  
三百三十三デアルカラ可ナリ大キイ、所デ五  
万圓位ノモノハ僅ニ千圓トカ何ボトカ仰シ  
ヤツタガ、五万圓ノモノデモ、ソンナ安い  
モノデハナイ、大臣ハ稅率ヲ見テ居ラレヌ  
ノデハナイカ、五万圓ニ對シテ一千圓デハ  
アリマセヌ、一番安いノモ二千五百圓ニ  
ナリマス

○田中政府委員　家督相續第一種ノ場合ニ付テ大臣カラ御説明申上ゲタノデアリマスガ、是ガ普通ニアル一番多イ相續デアリ、又家族制度ニ最モ關聯スルモノデアリマス、ソノ稅金ハ五万圓ニ付テハ正ニ一千圓ニナリ、十万圓ニ付テハ四千餘圓デアリマス。

○森田委員　五万圓ノ千分ノ五十ト言ヘバ二千五百圓デ、千圓ニナラスガ、ソレヲ押合ヒヲヤツテモ仕方ガナイカラ、ソレハ後デヤリマセウ、次ニ法人稅ニ付テ簡単ニ御尋致シマス、同族會社ノ定義ハ一體何處デ押ヘルノデスカ、此ノ法律デハ過半數ノ株ヲ一ツノ同族ガ持ツテ居ルト云フコトニナツテ居ルガ、一ツノ同族ガ持ツテ居ル會社其ノモノガ、他ノ同族ニアラザル會社ト同一ノ事業ヲ營ムモノデアルナラバ、ソレハ同族會社ノ定義ヲ下サヌデモ宜イト思フガ、同族會社ノ定義ハ何處デ押ヘテアルカ、此ノ法律デハ其ノ定義が能ク分ラヌノデスガ

○田中政府委員　此ノ法律ニアル通リ株主又ハ社員ノ一人及び是ト特殊ノ關係アル者ガ、其ノ會社ノ株ノ過半數ヲ持ツテ居ル場合ニハ同族會社デアリマシテ、是デ分ルト存ジテ居リマス。

○森田委員　ソレガ同族會社ト限定シテハイカヌト私ハ言フノデス、其ノ事業ニ依ツテ決メルヨリ外ニハナイ、最初斯ウ云フ稅ニ書イテアル同族ト云フ意味ハ、脫稅行爲ヲ目的トスル同族會社ガアツタカラ、同族會社ヲ取締ル方法ニ於テヤツタノデス、所謂有價證券ノ保有トカ、土地建物ノ保有ト云フヤウナ色々ナユトヲヤツテ、ソレガ個人デ納メレバ高イ稅率ノモノヲ納メナケレバナラスカラ、安イ稅率デ済マサウト云フノデ同族會社ガ澤山出來タノデス、是ハ大

正十何年デアツカト思フガ、アノ時ニ同族會社ヲ取締ルヤウナ稅ノ改正ヲヤツタ、ダカラ當時ノ改正ノ趣旨ト云フモノハソコニアツタノダガ、今日ハソレヲ引延バシテ加算稅ナドヲ取ツテ行ツテハ大變デス、是ハ要スルニ脫稅ヲ目的ニシタ同族會社ヲ取締ル加算稅ト云フモノヲ設ケルコトナラ宜シイガ、最初之ヲヤル時ニソレガ目的デヤツタノデス、所ガ今日ハサウデハナクテ、過半數ノ株ヲ同族會社ガ持ツテ居リサヘズレバ、直グ同族會社ト見做シテ、加算稅ヲ課ケルコトヲ得ト書イテアルコトハ宜クナイ、同族會社ノ定義ヲ變ヘテ行カナケレバナラヌ、即チ前ノヤウニ脫稅行爲ヲ目的トシテ居ルモノヲ同族會社トシ、然ラザル事業ヲヤツテ居ルモノハ株主ガ過半數、同族デアラウトアルマイト事業ガ他ノ株式ト何等異ナラヌ、脫稅ヲ目的トシテノ會社ナラ同族會社ト見ル必要ハナイノデス。

キマシテ、事業ヲヤツテ居ル會社ニ於キマシテモ、ハリ同族會社トシテ負擔ノ均衡ヲ圖ラナケレバナラヌ場合ガアリマシテ、サウ云ツタヤウナ觀點カラ事業ヲヤツテ居ル、或ハ有價證券等ノ財產所有ヲ目的トシテ居ルトヲ間ハズ、實權ガ一人ノ人ニアリヤウナ會社ハ同族會社トシテ居リマス、併シナガラ御話ノヤウニ其ノ兩者ニ相當ノ區別ヲツケルベキコトハ當然デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ加算稅ノ運用上ニ於キマシテ、保全會社ニ對シマシテハ大體此ノ規定ヲ適用スルガ、事業會社ニ對シマシテハ色々ノ制限ヲ設ケテ加算規定ノ適用ヲ緩和シテ居リマス、又今回ノ改正ニ於キマシテモ、事業會社ニ對シマシテハ同族會社ノ加算規定ヲ適用ヲ餘程緩和シテ適用スル場合ヲ少クシ、又適用スル場合ニ於キマシテモ、其ノ負擔ヲ緩和スルヤウナ方法ヲ、臨時措置法ニ依ツテ講ジテ居ルヤウナ次第アリマス。

○森田委員 今ノ國稅課長ノ答辯デ、ドツチニデモナルヤウナ風ニ言ハレルガ、私ハ法律ヲ作ル場合ニハハツキリサセテ置ケバ、私ハ法イト思フ、有價證券ト土地建物ノヤウナ財産ヲ保有シテ、即チモウツ能ク分ルヤウニ言ヘバ、死ニ生キガアツテ相續スル場合デモ、株券一枚名義ヲ書換ヘレバ宜イ、登録稅ハ納メヌモ宜イ、或ハ個人ノ場合デアルナラバ、今度デ言フナラバ綜合所得稅、從來デ言ヘバ第三種所得稅ト云フ累進課稅ヲ免レテ、財產ハ依然トシテ保有サレテ行クト云フ場合ニ、同族會社ガ多イノデ、此ノ場合ヲ取締ル爲ニ、同族會社ト云フ條項ヲ設ケタ、私ガ先程申上げタ通り、議會デ問題ニナツタ結果作ツタ法律デス、ソレヲ今

シテモ、ヤハリ同族會社トシテ負擔ノ均衡ヲト、或ハ有價證券等ノ財產所有ヲ目的トシテ居ルトヲ間ハズ、實權ガ一人ノ人ニアリヤウナ會社ハ同族會社トシテ居リマス、併シナガラ御話ノヤウニ其ノ兩者ニ相當ノ區別ヲツケルベキコトハ當然デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ加算稅ノ運用上ニ於キマシテ、保全會社ニ對シマシテハ大體此ノ規定ヲ適用スルガ、事業會社ニ對シマシテハ色々ノ制限ヲ設ケテ加算規定ノ適用ヲ緩和シテ居リマス、又今回ノ改正ニ於キマシテモ、事業會社ニ對シマシテハ同族會社ノ加算規定ヲ適用ヲ餘程緩和シテ適用スル場合ヲ少クシ、又適用スル場合ニ於キマシテモ、其ノ負擔ヲ緩和スルヤウナ方法ヲ、臨時措置法ニ依ツテ講ジテ居ルヤウナ次第アリマス。

○堀切委員長 今ノ區別ヲ明ニスル方法ハナイデスカ

○田中政府委員 法人稅ノ規定ハ、成程只今ノ御話ノヤウニ、保全會社タルト或ハ事業會社タルトヲ間ハズ、一律ニ加算規定ヲ適用シ得ルヤウナ規定ニナツテ居リマス、併シ今回臨時措置法ノ第一條ノ七ニ依リマシテ、事業ノ經營ヲ主タル目的トスル同族會社ニシテ命令ヲ以テ定メタル云々ト云フコトヲ規定致シマシテ、事業經營ヲ主タル目的トスル同族會社ニ付キマシテハ、法人稅ノ規定ニ依ラズ別ノ條件ニ依ツテ課稅スコトヲ規定致シマシテ、負擔ノ不均衡ガ非常ニ甚ダシイ場合ニ於テノミ加算規定ヲ適用スルヤウナ規定ヲ設ケテ居ル譯アリマス、中央第一線ト達フト云フ御話デゴザイマスガ、ルコトニ致シ、負擔ノ不均衡ガ非常ニ甚ダシイ場合ニ於テノミ加算規定ヲ適用スルヤウナ規定ヲ設ケテ居ル譯アリマス、中央第一線ト達フト云フ御話デゴザイマスガ、

七年ニモナルノデアルカラ時勢ガ變ツテ來タ、モウ十六、十七ニモナルノデアルカラ時勢ガ變ツテ來タ、時勢ガ變ツテ來タ今日、尙ホ其ノ當時ト同ジヤウナ解釋ヲ下シテ行クコトハイケマセヌ、又今國稅課長ノ御話ノヤウニ、緩和スル規定ガアルト仰シヤルガ、一般法律デ見テ行クト、同族會社ハ斯ウ云フモノヲ同族會社トスル、其ノ同族會社ニ對シテハ是レノノ加算稅ヲナスコトガ出來ル、斯ウヤツテ居ルノデアルカラ、アナタガ今此處デ御話ニナルヤウナコトヲ、出先ノ一線ニ居ル連中ハ考ヘハシマセス、直グ同族會社ニ對シテハ斯ウヤル、ソレヲ否認スル、此ノ事實ヲ認メルト云フコトヲ現在屢々ヤツテ居ル、デアルカラ私ハ同族會社ノ所ハ相當ニ考慮フ願ハナケレバナラスト思ツテ居リマス

○堀切委員長 今ノ區別ヲ明ニスル方法ハナイデスカ

○田中政府委員 法人稅ノ規定ハ、成程只今ノ御話ノヤウニ、保全會社タルト或ハ事業會社タルトヲ間ハズ、一律ニ加算規定ヲ適用シ得ルヤウナ規定ニナツテ居リマス、

ソレカラ法人稅ヲ決定スル際ノ所謂法人所得デス、法人所得ヲ決定スル際ニ、法人稅ト臨時利得稅ハ支出ト見ナイト云フコトニ付テハ、隨分此處デ押問答ガアリマシタガ、私ハ是ハ認メナカツタ場合ニ、次ノ期ニドウスルカト云フ疑問ヲ持ツテ居ル、假リニ認メヌデ宜シイガ、當期純益金ヲ出シテ、當期純益金ハ法人ハ御承知ノ通リ次ノ期ニ支出デ納メル、然ルニ次ノ期ニハ營業デ利益ガ無カニ、因ルコトニハナラナイト思ヒマス、要スルニ今回ノ改正ニ依リマシテ、或ル期ニ十萬圓ノ利益ヲ得テ、ソレニ對シテ三万圓ノ稅金ガ課カルトスレバ、其ノ十万圓ノ利益ニ於テハ其ノ三万圓ヲ損ニ見テ、其ノ上デノ中カラ三万圓ヲ納メル、森田サンノ只今署ハ三万圓ノ支出ハ損ニ見ナイ爲ニ、ソコノ御話ハ其ノ次ノ期ニ三万圓納メテ、會社ニ三万圓ノ益金ガ出來ル、ソレデ納メルベキ稅金ガナライデハナイカト云フ御話デゴザ

税ヲ納メテ居レバ、ソレダケヲ除ケテ見レバ、今度ハ純益決定金額ハ三万圓ノ所得ガシテハ、大體本省ノ方ニ稟議サセマシテ、本

省ニ於テ加算規定ヲ適用スベキカドウカト云フコトヲ決定シテ居リマス

○森田委員 臨時措置法ニシテアル、ソレハ臨時デアル、要スルニ其ノ法律ハ何時力

ハ止メル問題デアル、ソレハ一ツ能ク考へテ行カナイト、本法ニ入レテ置カナイト其ノ價值ハナイ、臨時措置法ハ讀ンデ字ノ如

ク、臨時ニヤツテ行クベキデセウ、今ノヤウナ解釋ヲヤツテ行クノニハ、本法ニ入ツテ居ナケレバ解釋が出來マセス、ソレデア

ルカラ是ハ本法ニ明記シテ貴ヒタイ、勅令ヤ省令ニ依ツテ動カスコトガ出來ヌヤウニ、

ウナ解釋ヲヤツテ行クノニハ、本法ニ入ツテ居ナケレバ解釋が出來マセス、ソレデア

ルカラ是ハ本法ニ明記

ナイノデアツテ、初メノ十万圓ノ利益ヲ得

タ中カラ、三万圓ノ税金ヲ納メルコトニナリマシテ、一ツモ不都合ハナイト考ヘマス

○森田委員 ソレナラバアナタヘ會社ノ經理

ヲ御承知ナイ、洵ニ遺憾デアリマス、會社ト

云フモノハ斯ウ云フ風ニヤツテ居ル、第一期ノ決算ノ時ニ十万圓儲ケタハ其ノ時ニ税

引ヲシテ居レバ宜イト言ハレマスガ、吾々

決算報告ヲ見ルト、吾々ノ關係シテ居ル所

デモ、税金引當金ト云フモノヲ持ヘテヤツ

テ居ツタガ、近來ハ止メマシタ、ナゼカト

云フトコチラガ引當ニシテ居ル金額ト、ア

ナタノ持ツテ來る金額トハ、否認事項が多

イカラ一致セヌノデス、之ヲ認メズ、アレ

ヲ認メズ、ソレモ認メズト云フモノダカラ

折角計上シテ置イテモ效果ハアリマセヌ、

デアルカラ税務署ガ決定シテ來ルノハ、今

期ノモノガ次ノ期ニ來ルコトアリ、來ラザ

ルコトアリ、隨テソレヲ當ニシテ何時ドウ

云フ風ニ經理シテ行クカ、帳簿、出納簿ヲ

會社ハ締切ラズ、整理セズニ行ク譯ニハ行

カナイ、ドウシテモ何月何日ニ締切ツテ、一

箇月以内ニ株主總會ヲ招集スルト云フ風ニ、

商法ノ方デ定メラレテ居ルカラ、税金ガ決

ツテ來ルマデ、二年デモ三年デモ帳簿ノ締

切ヲ放ツテ置ク譯ニハ行キマセヌ、サリト

テ今アナタノ仰シヤツタヤウニ、十万圓ニ

對シテ税金其ノ他ノ計算ヲシテ置イテコツ

チガ取ツテ置イタラ、ソレヲアナタハ認メ

マスカ、大藏省ノ方ハ必ズ認メヌデセウ、

是ハ違フ、アレガ違フト云ツテ山程附箋ヲ

付ケテ返シテ來ルデハアリマセヌカ、サウ

スルト經理ノ方法ハドウヤレバ宜イカ、經

期ノ決算ニテ見ルト、私モ丁度森田君ト同ジヤウ  
トガアリマスガ、是ハ斯ウ云フ譯デス、今  
配當トスル、一万圓ヲ積立金トスル、サウ  
スルト殘リノ三万圓ヲ税金ニ取ル、詰リ斯  
ウ云フ利益金ノ處分案ノ中ニ、配當金ト、  
積立金ト、繰越金ト、税金ト、即チ利益ガ  
コト左ノ如シ、法定積立金幾フ、準備積立  
金幾ラ、役員賞與金幾ラ、配當金幾ラト、  
申セバ、利益金幾ラ、之ヲ處分スル  
ガ決ツテ來ル、隨ヒマシテモウ一度分り易  
行キサヘスレバ、茲ニキチント税ノ標準  
ガ付イテ來ル、而シテ其ノ支拂方法ハ、株  
式會社ガ丁度配當金ヲ、其ノ次ノ期ニナツテ  
拂フト同ジヤウナ形式ニ於テ、翌期ソレヲ  
拂出シテ行クノデアリマシテ、詰リ今日會  
社デ配當金ヲ其ノ次ノ期ノ經費ニ見テ居ル  
會社ハ何處ニモナインデアリマシテ、詰リ  
前期ノ利益金ノ中カラ、之ヲ拂出シテ行ク  
ノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ私少シモ  
疑問ガナイト思ヒマス

○森田委員 サウスルトアナタノオヤリニ  
ナツテ居ツタカモ知レマセヌガ、吾々會社  
ハ斯ウヤツテ居ルノデス、當期純益金ニ對  
スル課稅ノ支出ハ、次ノ期ノ營業費カラ出  
シテ居ル、從來カラ殆ドソレデス、今ノ大藏

大臣ノヤウニ、當期十万圓儲ツタカラ、税金  
ヲ何万圓ト引當テハ合ハヌデセウ、合ヒ

シタリセヌト云フ風ナラバ、洵ニ結構ダガ

（税法改正ノ委員會デハナク、マルデ株主總

會ミタイグ」ト呼フ者アリマア靜カニ聽イ

テ下サイ、サウ茶々ヲ入レズニ——今ノヤウ

ニ計算ヲ見テ吳レレバ、帳簿ノ上デハツキ

リシテ來ルカラ宜イノデス、ソレガサウデ

ナイカラ、支出ニ計上シテモ其ノ金額ハ移

動サレテ、何時デモソレハ足ラヌノデス、

税務署カラ令書ガ來ルト必ズ増加シテ來ル

ノデ、ソレデ足ラヌノデス、足ラヌカラ皆

其ノ當期ノ純益ニ對スル税ハ、次ノ期ノ支

出ノ方ニ見テ居ル、從來何處ノ會社デモ大

體ガサウデス、税金引當金ヲ取ツテ居ル會

社ガアルガ、ソレハ本當ノ經理ニハナラヌノデ

ス、ダカラ本當ノ經理ヲシテ行カウト思ヘバ、

税務署カラ令書ガ來テ、納メル時ニ必ズ出

金傳票ニ書上ゲテ、ソレヲ帳簿ニ書表ハス

ト明確ニナツテ來テ、一ツモ違ハヌコトニ

ナル、ダカラ是ハ從來ノ方ガ宜イ、アナタノ

方ハ是ガ爲ニ三四億ノ增收ヲ見込ンデ居ル

ヤウデアルガ、之ニ對スル見込モ多過ギル

ト思フシ、又斯ウ云フ風ナコトハイカヌノ

デス、是ハ屢々、昨日カラ申シテ居ルコトデア

ルガ、個人ノモノヲ認メテ居ラスト云フノ

ハ、個人ニハ一時所得ヲ認メテ居ラヌカラ、

ハ一時所得ヲ見テ居ルカラ、斯ウ云フモノ

ヲヤハリ支出ト見テアル、アナタガ寄附ノ  
問題デ仰ツシヤツタコトヲ、此處ヘ持ツテ  
來テ適用スレバ、ガツチリ決ツテ抜差シナ  
ラヌコトニナルノデス

○田中政府委員 一寸技術上ノコトデスガ、

只今森田サンノ仰ツシヤツタ會社ハ、一應

税金ハ是位アルト取ツテ置イテモ、税務

署デハ色々ト基準ガアツテ其ノ通リニナラ

ナイ、隨テ會社ガ十万圓ノ利益ノ中デ、只

今大臣カラ御説明申上ゲタヤウニ、何万圓

ト云フ税金ヲ豫定シテ置イテモ、否認ガア

ル爲ニ、税金ガ増シテ來ル、隨テソレヲ出

ス金ガナインデハナイカ、ソレデ不都合ダト

云フ風ニ伺ツタノデアリマスガ、是ハ斯ウ

云フコトニナルグラウト思ヒマス、例ヘバ

ニ對シテ税金ガ三万圓ナラバ三万圓トスル、

税率ハ分ツテ居ルノデスカラ、此ノ益金ガ

十万圓デアル限リ計算ハ間違ヒナイ、之ヲ

税務署ガ否認スル結果、益金ヲ十五万圓、二

十万圓ニ見ルカラ、ソヨデ税金ガ初メニ豫

定シタ金額ト違ツテ來ル、ソコデ會社ハ益

金トシテ十万圓ノ處分ヲ決定シテ居ルノニ

困ルト云ハレルノデスガ、税務署ガ否認致

シマシテ、十五万圓ナリ二十万圓ナリノ多

イ利益トナルコトニナレバ、必ズソコニ税

務計算上會社ノ留保金ガ多クナツテ來ル譯

デアル、多クナツテ來ル譯デゴザイマスカ

ラ、其ノ中デ税金トシテ出スベキ税金引當

デゴザイマス、私ハ税務計算上ノコトヲ申

上ガテ居ルノデス、ソレヲ出スベキ留保金ガナ

ト云フヤウナ場合ハ絶対ニアリ得ナイ、純

益金ヨリモ稅金ノ方ハ必ズ少ウゴザイマス  
カラ、御話ノヤウナコトハ起キテ參ラスト  
考ヘマス、只今ノ森田サンノ御話ニ付テ、  
稅務計算上ハ、サウ云フ風ニナツテ不都合  
ハ起ラナイト云フコトヲ、一言申上ゲテ置  
キマス

○森田委員 不都合ガ起ルノデス、アナタ  
ハ稅務署ガ認メ又金額ハ留保金額ガアルカ  
ラ、計算ヲヤリ替レバ宜イヂヤナイカト云  
フガ、總會ノ決議ヲ經テヤツクモノダカラ  
計算ノヤリ替ヘハ出來マセヌ、モウ一ツ斯  
ウ云フコトガアル、稅務署ト致シマシテハ  
否認ノ金額ガアツテ、次ノ期ノ利益ニ出サ  
レマスガ、サウデヤナイ、支出ノ分ハ、既  
ニ拂ツテシマツタモノヲ否認シテ來ルノデ  
アル、アナタノ方デ否認シテ來テ、是ハ支  
出ノ中ノ營業稅トハ認メヌ、寄附ハ營業上  
ノ寄附デハナイト云ツテモ、是ハ旅費トシ  
テ支出シテ居ルノデ、サウ云フ性質ノモノ  
デハナカ、色々償却ナドデ否認シテ來ルナ  
ラバ、物ガアルカラマダ宜イガ、償却金ト云  
フモノハ、コチラガ五万圓居出ルト、三万  
圓シカ認ヌ、其ノ時ニコチラニ物ガアルノ  
ダカラ宜シイガ、既ニ支出シテシマツタモ  
ノヲ否認シテ來タ所デ、ソレガ會社ニ戻リ  
マセウカ、私ハドウシタツテサウ云フ計算  
ハ出テ來ナイト思フノデス

○田中政府委員 御話ノヤウニ決算上ノ色  
色ナ純益ト云フモノハ、ソレダケ現金デ儲  
ツタモノトハ私モ考ヘテ居リマセヌ、ソレ  
デスカラ稅金ヲ納メルベキ現金ヲ如何ニシ  
テ調達スルカト云フコトハ別問題デアリ  
マシテ、會社ノ純益ト云フモノハ、例ヘバ  
財產ノ評價益デ純益ヲ出シマシタ場合ニ於  
テハ、會社ニ於テヘ現金トシテハ一文モ收入  
キマス

シナイ、併シ十万圓、二十萬圓ノ評價益ヲス  
レバ十万圓、二十萬圓ノ純益ト計算上ナル  
コトハアリ得ルコトト思フノデアリマス、  
ソレニ對シテ稅金ヲ何處デ調達シテ來ルカ  
ト云フノデスガ、ソレハ別ノ問題デ、會社  
ノ持ツテ居る資產ノ值上リダケデ、純益ヲ  
出シタヤウナ場合ヲ御考ヘニナレバ、當然分  
ルコトダト思ヒマス、現金ノ問題ト會社ノ  
決算上ノ利益ト云フモノトハ、必ズシモ一  
致シナイト存ジマス

○堀切委員長 是ハ隨分大事ナ問題デ、實  
際ト理論ノ兩方ノ爭鬭デス、事實上今度ノ  
改正ノ中デ最モ重大大ナ問題ニナルト思フカ  
ラ、繰返シテモ構ヒマセヌカラ、ドウゾ兩  
方デヤツテ下サイ

○大矢政府委員 是ハ洩ニ委員長ノ仰セニ  
ナリマス通り、今度ノ法人稅ノ從來ノ計算  
法ト變ツテ居ル所デ、稅ノ負擔ノ點カラ言  
ツテモ大キナ變動デアリマシテ、中々重要  
ナ問題ダト思フノデアリマス、御得心ノ行  
クマデ一つ能ク御説明致シマス

○堀切委員長 十二時マデ宜シウゴザイマ  
ス

○大矢政府委員 立川委員ノ御要求ニ依リ  
マシテ昨日御配リ致シマシタ資料、是ハ森  
田サンノ御希望ニ依ツタモノト存ゼラレマ  
ハ出テ來ナイト思フノデス

○堀切委員長 ソンナコトバドウデモ宜イ  
○大矢政府委員 此ノ表ヲ御覽下サレバ資  
本金十萬圓ノ會社ガ、十五万圓ノ利益ヲ舉  
ゲタ場合ニハ、ドウ云フ稅ノ負擔ニナルカ  
ト云フノデアリマス、此ノ例ニ付テ先づ考  
ヘテ見マスト、從來ノ例ニ依リマスト、會  
社ガ初メテ出來上ツタ最初ノ事業年度ノ資  
本金ガ十万圓デ、十五万圓ノ利益ヲ得タト  
シマスト云フト、此ノ期ニ於テハ稅ノ負擔  
ハ從來ノ例カラ見ルト一文モナイ、隨ヒマ  
シテ十五万圓ノ所得ハ其ノ儘利益配當ナ  
リ、重役賞與ナリニ爲シ得ル、斯ウ云フ譯  
デアリマス、次ノ期ニ於キマシテ、ヤハ  
リ其ノ事業カラ所得十五万圓ヲ得タト致シ  
マスト、其ノ前期ノ所得ニ對スル各種ノ稅  
ガ、八万八千六百六十八圓課稅ヲ受ケマ  
スカラ、結局課稅所得ハ六万一千三百三  
十二圓、斯ウナリマス、同ジク十五万圓ノ  
事業所得ヲ擧ゲナガラ、第一期ニ於キマシ  
テハ何等稅ノ負擔ヲ受ケナイ、第二期ニ於  
キマシテハ此ノヤウナ負擔ヲスル關係上、  
課稅所得ハ著シク減ル、斯ウ云フ風ニナツ  
テ居リマス、而シテ稅ノ計算上第三期ハ八  
万八千幾ラ損ニ見ラレマス結果ト致シマシ  
テ、之ニ對スル稅ハ第三期ニ納メマスガ  
是ハ又少クナリマスカラシテ、第三期ニ於  
キマシテ同ジク十五万圓ノ所得ヲ擧ゲルト  
云フト、課稅所得ノ計算ヨリ致シマスト、  
第二期ヨリ大分殖エテ來ルト云フコトニナ  
ツテ居リマス、斯ウ云フヤウナノハ第一期  
ノ稅ノ負擔ハ更ニシナイ、第二期ニハ相當  
多額ノ負擔ヲスル、第三期ハ又ソレト違ツ  
タコトニナル、從來ノ計算カラ見レバ斯ウ  
云フヤウニナツテ居リマスガ、今回ノ計算  
ニ依リマスト、事業ノ所得が毎事業年度十  
五万圓ナラバ、之ニ相當スル稅額ガイツモ  
殆ド變ラナイ數字ガ出テ來ル、斯ウ致シマ  
シテ、課稅ノ均衡カラ言ツテモ適當デアル  
シ、會社ノ經理カラ申シマシテモ、第一事  
業年度デ十五万圓其ノ儘ヲ處分シ得ル、第  
二期ハ六万幾ラシカ處分シ得ルモノガナ  
ル、第三期ハ又或ハ十万圓トカ十一万圓ニ  
ノ利益ノ中カラ出ス、斯ウ云フ風ニスルノ

シマスト云フト、此ノ期ニ於テハ稅ノ負擔  
ス、隨ヒマシテ會社ノ經理ノ狀況カラ云ヒ  
マシテモ亦租稅負擔ノ均衡ノ點カラ言ヒマ  
シテモ、今度ノ改正ノ方ガ洵ニ合理的ニ出  
來テ居ル、斯ウ存ズル次第デアリマス  
スカ、結局課稅所得ハ六万一千三百三  
十二圓、斯ウナリマス、同ジク十五万圓ノ  
事業所得ヲ擧ゲナガラ、第一期ニ於キマシ  
テハ何等稅ノ負擔ヲ受ケナイ、第二期ニ於  
キマシテハ此ノヤウナ負擔ヲスル關係上、  
課稅所得ハ著シク減ル、斯ウ云フ風ニナツ  
テ居リマス、而シテ稅ノ計算上第三期ハ八  
万八千幾ラ損ニ見ラレマス結果ト致シマシ  
テ、之ニ對スル稅ハ第三期ニ納メマスガ  
是ハ又少クナリマスカラシテ、第三期ニ於  
キマシテ同ジク十五万圓ノ所得ヲ擧ゲルト  
云フト、課稅所得ノ計算ヨリ致シマスト、  
第二期ヨリ大分殖エテ來ルト云フコトニナ  
ツテ居リマス、斯ウ云フヤウナノハ第一期  
ノ稅ノ負擔ハ更ニシナイ、第二期ニハ相當  
多額ノ負擔ヲスル、第三期ハ又ソレト違ツ  
タコトニナル、從來ノ計算カラ見レバ斯ウ  
云フヤウニナツテ居リマスガ、今回ノ計算  
ニ依リマスト、事業ノ所得が毎事業年度十  
五万圓ナラバ、之ニ相當スル稅額ガイツモ  
殆ド變ラナイ數字ガ出テ來ル、斯ウ致シマ  
シテ、課稅ノ均衡カラ言ツテモ適當デアル  
シ、會社ノ經理カラ申シマシテモ、第一事  
業年度デ十五万圓其ノ儘ヲ處分シ得ル、第  
二期ハ六万幾ラシカ處分シ得ルモノガナ  
ル、第三期ハ又或ハ十万圓トカ十一万圓ニ  
ノ利益ノ中カラ出ス、斯ウ云フ風ニスルノ

經理自體カラ言ツテモ非常ニ實際ニ副ハ  
イ、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマ  
ス、隨ヒマシテ會社ノ經理ノ狀況カラ云ヒ  
マシテモ亦租稅負擔ノ均衡ノ點カラ言ヒマ  
シテモ、今度ノ改正ノ方ガ洵ニ合理的ニ出  
來テ居ル、斯ウ存ズル次第デアリマス  
スカ、結局課稅所得ハ六万一千三百三  
十二圓、斯ウナリマス、同ジク十五万圓ノ  
事業所得ヲ擧ゲナガラ、第一期ニ於キマシ  
テハ何等稅ノ負擔ヲ受ケナイ、第二期ニ於  
キマシテハ此ノヤウナ負擔ヲスル關係上、  
課稅所得ハ著シク減ル、斯ウ云フ風ニナツ  
テ居リマス、而シテ稅ノ計算上第三期ハ八  
万八千幾ラ損ニ見ラレマス結果ト致シマシ  
テ、之ニ對スル稅ハ第三期ニ納メマスガ  
是ハ又少クナリマスカラシテ、第三期ニ於  
キマシテ同ジク十五万圓ノ所得ヲ擧ゲルト  
云フト、課稅所得ノ計算ヨリ致シマスト、  
第二期ヨリ大分殖エテ來ルト云フコトニナ  
ツテ居リマス、斯ウ云フヤウナノハ第一期  
ノ稅ノ負擔ハ更ニシナイ、第二期ニハ相當  
多額ノ負擔ヲスル、第三期ハ又ソレト違ツ  
タコトニナル、從來ノ計算カラ見レバ斯ウ  
云フヤウニナツテ居リマスガ、今回ノ計算  
ニ依リマスト、事業ノ所得が毎事業年度十  
五万圓ナラバ、之ニ相當スル稅額ガイツモ  
殆ド變ラナイ數字ガ出テ來ル、斯ウ致シマ  
シテ、課稅ノ均衡カラ言ツテモ適當デアル  
シ、會社ノ經理カラ申シマシテモ、第一事  
業年度デ十五万圓其ノ儘ヲ處分シ得ル、第  
二期ハ六万幾ラシカ處分シ得ルモノガナ  
ル、第三期ハ又或ハ十万圓トカ十一万圓ニ  
ノ利益ノ中カラ出ス、斯ウ云フ風ニスルノ

ガ適當デアルカト云フ問題デアルト思フノ  
デス  
○堀切委員長 理論上カラ言ヘバ、今度ノ  
改正ノ方ガ理論ハ通ツテ居ルヤウダガ、從  
來長イコト一期毎ニ遅ラシテ取ツテ居ツタ  
ノヲ、今回俄ニ斯ウヤルカラ、議論ノ摩擦  
ガココデ起ツテ來ル

○大矢政府委員 稅ノ負擔ハ重クナルカト  
云フト、税率ヲ重ク致シマスレバ、今回ノ  
改正ノ方ガ稅ノ負擔ガ重クナルコトハ、確  
ニ事實デアリマス、隨ヒマシテ若シモ計算  
方法ノ變更ニ依ツテ、法人ノ負擔ガ重キニ  
過ギルト云フナラバ、是ハ稅率ノ點ニ於テ  
考慮スベキコトデアル、課稅標準ノ計算方  
法ハ、今回ノ改正案ノ方ガ適當ダト考  
ヘテ居ル次第アリマス

○堀切委員長 即チ大臣ノ云フ急激ナル變

動ヲ經濟界ニ與ヘナイト云フ點ニ矛盾シテ

明申上ゲタ譯デアリマスガ、一應稅金ヲ損

來マス、非常ニ大キナ變化ニナツテ參リマス

○田中政府委員 度々主稅局長カラモ御說

明申上ゲタ譯デアリマスガ、一應稅金ヲ損

來マス、非常ニ大キナ變化ニナツテ參リマス

金ニ見テ居ツテ、色々不都合ガアルト云フ

事情フモウ一度述べサセテ戴キマス、只今

主稅局長カラ御說明申上ゲマシタヤウニ今

日會社ニ對スル稅ノ負擔ハ、御承知ノ通り

ニ相當重クナツテ居リマス、隨ヒマシテ例

場合ニ依ツテハ六割、七割ト云フ稅金ガ課

圓ヅツ利益ヲ舉ゲテ居ルト致シマシテモ、

其ノ十万圓ニ對シテハ、三割、五割、或ハ

ハ、或ル會社ガ企業利益ヲ每期同ジク十万

圓ニ見ル爲ニ、翌期ノ利益ハ五万圓ニナ

損ニ見ル爲ニ、翌期ノ利益ハ五万圓ニナ

ル、之ニ對スル稅金ヲ五割ト假定致シマス

レバ、二万五千圓、其ノ翌期ニ於キマシテ

ハ同ジク十万圓ノ利益ヲ舉ゲテ居リマスノ

ニ、今度ハ損ニ見ル稅金ガ二万五千圓デア

ル爲ニ、利益ハ七万五千圓ニナリマス、サ

ウ云フ風ニ企業利益ハ同様デアルノニ、稅

金ノ爲ニ一期交代ニ波ヲ打チナガラ行クノ

デアリマス、私ノ例ハ同ジク企業利益ガ每

期十萬圓ノ例ヲ取ツテ居リマスカラ、マダ

其ノ程度デ濟ミマスガ、或ル期ニ於非常

ニ利益ガアツタ、例ヘバ資產ノ評價益ガア

ルトカ、或ハ事業ガ非常ニ好調デアツテ儲

ケタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、此

ノ波動ガ非常ニ大キクナリ、相當ノ利益ヲ

舉ゲテ居ルノニ、稅ヲ差引ク爲缺損トナリ

稅金ヲ納メナクテ宜カツタリ、或ハ實際ノ

企業利益ニ應ジナイ稅金ヲ納メタリスルコ

トトナリ、數期ヲ通算スルト負擔ガ非常ニ

不公平ニナルノデアリマス、稅金ガ比較的

安イ場合ニハ、サウ云フ傾向ガアルトシテ

モ、ソノ爲ニ大シタコトモナカツタ譯デア

リマスガ、稅金ガ今日ノヤウニ高クナツタ

場合ニ於テハ、非常ニ負擔ノ不公平ガ起ル

シ、稅金ノ爲ニ企業ノ利益ガ非常ニ波打

ツ、斯ウ云フ問題ガアルノデアリマス、サ

ウ云フコトカラ申シマシテモ、今回ノヤウ

ニ改正スル必要ガアルノデアリマス、更ニ

モウツ御考慮願ヒタイノハ、現在ノ法人

ニ課カル色々ナ稅率ヲ集計致シマスト、利

益ノ或ル一部、即チ全部ニ對シテデハアリ

マセヌガ、例ヘバ三割以上利益ヲ舉ゲテ居

ルモノニ對シマシテハ、九三%幾ラノ率稅

ニナル、臨時利得稅、第一種所得稅、營業

稅及ビソレ等ノ附加稅、超過所得稅、斯ウ

云フモノヲ總テ計算致シマスト、九三%幾

ラト云フ稅率ガ、現在ハ課カルコトニナリマ

ス、此ノ事ハ相當高イ負擔デアリマシテ、

色所得稅トカ營業收益稅トカ——營業收益

稅ハ引イテ居ツタト思フガ、所得稅ハ引イ

テ居リマス、隨テ企業家其ノ他ノ方面ニ於

キマシテハ、先般來色々御話ガアリマシ

タヤウニ、是レ以上儲ケタナラバ一〇

〇%ニ近イ稅金ヲ取ラレルト云フコトカ

ラ企業心ガ萎縮スル、或ハ濫費ガ多クナ

ル、所謂社内配當ガ多クナルト云フヤウ

ナ御說ガ屢、アリマシタ、是ハ一ツハ誤ツ

タ觀念ニ立ツ譯デアリマシテ、實ハ其ノ會

社ニ百万圓利益ガアルノニ、前期ノ稅金五

十万圓ヲ差引イテ、アトノ五十萬圓ヲ課稅

標準トスルカラ、九三%幾ラト云フヤウナ

稅率ヲ盛ラナケレバナラス、是ハ即チ稅金

ヲ損金トスル從來ノ方法ハ稅率ヲ實質以上

ニ高カラシメテ、サウンシテサウ云フ誤解ノ

下ニ企業心ヲ萎縮シ、濫費ガ多クナルト云フ

傾向ガ生ジテ來ルト思フノデアリマス、サウ

シテ此ノ九三%ト云フ現在ノ稅率ヨリ、更ニ

今回各方面ニ公平ナル増稅ヲスルコトニナレ

バ、此ノ部面モ更ニ上げナケレバナラス、現

在ノ方法ノ下ニ於テサウ云フコトヲスレバ、

更ニサウ云フ弊害ガ甚シクナル、斯ウ申シマ

スト、ソレハ稅率ヲ安クスル胡魔化シノ手

デアラウト云ツタヤウナコトヲ云ハレルカ

モ知レマセヌガ、サウ云ツタ誤ツタ土臺ノ

上ニ稅率ヲ盛ツテ、サウ云フ誤ツタ觀念ノ

人稅ト臨時利得稅ガ課カツテ來ル、又其ノ

マスカ、次ノ期ノ時ニ稅ヲ三万圓納メテモ、

同時ニ本期儲カツテモ、次ノ期ニ儲カラス

ナ計算ハ出來ヌ、完全ナ計算ガ出來ナイノ

ミナラズ、何時モ會社ト云フモノノ決算ガ、

シテモ會社ノ經理上不可能グト思フ、完全

ナ計算ハ出來ヌ、完全ナ計算ガ出來ナイノ

ス、是ハ政府ハ一一掛ツテ個人ト同ジヤウ

ルガ、此ノ支出ハ認メズト云フノ付箋ガ

ス、是ハ

税ガ課カルテ來ル、次ノ期ニハ又其ノ支出ヲ否認シテ來ル、追越シ／＼デヤツテ行クカラ、非常ナ不都合ガ生ジテ來ル、ソレモ儲カルバカリノ會社ナラ宜シイ、銀行、保險會社ヲ險會社ノヤウナ所ナラ何トカナルト思フ、是ハ利益ガ大體平均ガ取レテ居ルガ、他ノ事業ハサウ參リマセヌ、銀行、保險會社ヲ除キタル他ノ浮ミ沈ミノ多イ事業ハ、決シテ平均ニ利益ヲ擧ゲテ居ラヌノデアリマスカラ、今ノヤウナ不都合ガ生ジテ來ル、私ハ此ノ點ハモウ是以上議論シテモ駄目デスガ、何レ委員ノ協議會デモアルナラバ、其ノ時ニ尙ホ詳シク私ハ申上ゲマス、ドウシテモ會社ノ經理ハ是デハイカスト云フコトガ明ニナツテ來ルノデアルカラ、損ヲシタ時ノ始末、其ノ點ヲ吳々モ私ハ念ヲ入レテ置キマス

シレカラ法文ノ第六條ニ積立金ノコトガアルノニ、繰越金ノコトガナイ、併シ第九條ニ曖昧ナコトヲ書イテアル、第九條ニ持ツテ行ツテ、積立金ニ持ツテ行ツテモ宜イ、六條ト九條ノ區別ガハツキリシテ來ルト宜イト思フガ、六條ニ持ツテ行ツテ積立金ノコトヲ述ベタル、第九條ニ持ツテ行ツテ繰越金ヲ入レラレヌコトモナイカナト云フ解釋ガ付クヤウニシテアルガ、ナゼ積立金及ビ繰越金ト云フ字ヲ入レテナイカ是ガ皆一切胡麻化ス手品ノ種ニナツテ居リマスガ、斯ウ云フモノハ明確ニヤツテ置ケバ宜イ〇櫻内國務大臣此ノ問題ハ極メテ重大ナ問題デアリマスカラ、六條九條ノ問題ハ政府委員カラ答辯致シマスガ、今ノ稅金ノ問考ニナツテ居ルコトハ、現在ノ會社經營ノ上

所ガソレハ一言申上ゲタラ分ルト思フ、前期ノ利益ノ配當金ハ、ドウ云フ勘定ヲシテ居マスカ、是ハ即チ次ノ期デ拂ヒマス、前ノ期ナシ、即チ昨年ノ下期ニ決算ヲシテ、其ノ決算ノ配當金ハ今期ニ拂ツテ居ルノアリマス、十五年ノ上期ニ拂ツテ行クケレドモ、決算ハ十四年ノ十二月三十一日ヲ土臺トシテ、一月ニ總會ヲ開イテ、チャント決ヌテ、拂フ、ソレト同ジヤウニシヨウ、而シテ此ノ改正ヲ私ガ適當デアルト云フコトニ、自分デ深ク研究シテ決定致シマシタノハ、此ノコトヲ申上ゲタラ一番明瞭ダト思フ、若シ本年ナラ本年一箇年ノ營業ヲシテ、一箇年目ニ解散スルトシタラドウナリマス、解散ヲスルコトニナツテ、此ノ期ニ解散シテシマフノヲ、配當ヲ取ツテシマツテ解散スルノダト云フノデ、來期ニナツテ出ス税金引カ云フモノノ税金引當金ト云フモノヲ拂ヘナケレバ、會社ハ解散出來マセヌ、即チ其ノ十万圓ニ對スル二万圓トカ三万圓ト、當金ナクシテ済ミマスカ、解散ハ出來ヤシマセヌ、即チ此ノ期ニ十万圓儲カツタラバ、ノダト云フノデ、來期ニナツテ出ス税金引カ云フモノノ税金引當金ト云フモノヲ拂ヘナケレバ、會社ハ解散出來マセヌ、即チ其ノ十万圓ノ利益金ト云フコトガ土臺ニナツテ、税金ガ課カルノデアリマスカラ、解散スル場合ニ於テハ、ドウシテモ其ノ引當金ト云フモノヲ取ラナケレバ解散ハ出來ナイ、ソレト同ジコトデアツテ、半期々々、或ハ一年々々ニ決算ヲ致シマス以上ハ、其ノ一年ナラ一年デキチント決算ヲスベキコトヲ、ソレヲ未拂ニシテ置クト云フコトガ、

一番不正當ナコトデアリマス、唯御話ノ通  
リ計算ハ、ヤハリ利益金ガ十万圓ナラ十万  
圓ト云フ計算ガ出レバ、税金ハ其ノ十万圓  
ガアルモノヲ十万圓ヨリ利益ガナイト云ツ  
テ胡魔化シテ居レバ、税務官吏ガ追徵シマ  
スケレドモ、若シ何人モ疑フコトノ出來ナ  
イ正當ナ決算デアルナラバ、其ノ決算ノ利  
益金ニ課ケテ、利益ニ對シテハ税務官吏ガ  
修正スルコトハ出來マセヌ、ダカラシテキ  
チント決算ガ出來ル、是ハ私モ餘程森田サ  
ント同ジヤウナ考ヲ持ツテ居リマシタノ  
デ、可ナリ之ヲ研究シテ見マシタケレドモ、  
税法ト致シマシテハ此ノ税法ガ宜シイ、唯  
其ノ結果トシテ可ナリナ増税ニナル、此ノ  
可ナリナ増税ト云フコトヲ、此ノ際非常ナ  
増税ニナルカドウカヲ能ク研究シテ見マシ  
タガ、ソレデ此ノ法案ニ對シマシテ、十八  
ト云フ法人課税率ハ、現在ノ税率ノ二十三  
幾ラト云フモノノ中カラ六ト云フ所ノ、所  
謂分與税トナルモノヲ引キマスト十七幾ツ  
ニナリマス、ソレヲ十八ニ直シタ、サウス  
ルト現状維持デアリマス、總テノ税金ヲ二  
割、三割上ゲル場合デアルカラ、其ノ上ゲ  
ル所ヲ只今申ス所ノ税率ノ方ニ、所謂税引  
ノ關係ニ於テ見マシテ、ソレハ凡ソ一七・  
四五ト云フモノニナルノヲ、十八ニ引上ゲ  
ルニ止メタノデアリマス、其ノ意味ニ於テ  
私ハ此ノ税ノ建前ト云フモノガ正當デアツ  
テ、斯ウシナケレバ若シ解散其ノ他ノ場合  
ニ於テ困ル場合ガ起ツテ來ル、斯ウ云フ風  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス

一應アナタノ答辯ハ肯定出來ヌコトヲ申上  
ゲテ置キマス、解散ノ場合ニ税ヲ引カズニ、  
税ノ引當金ヲ残サズニ解散出來ルカト仰シ  
ヤツタガ、ソレハ清算事務ニナル、税ヲ拂  
散カカラ株主出資者ニ戻スノデアリマシテ、  
アナタノ仰シヤルヤウニ會社ハ一期間限リ  
デモ宜シイ、何時解散シテモ宜シイガ、解散  
ノ決議ヲシテ、ソレカラ今度ハ清算ニ移  
ル、税金ヲ拂ハナケレバ清算終了ハ出來  
ス、アナタノ仰シヤルヤウニ先ニ税金ヲ取  
ツテ置イテ、會社ガ解散シテ株主ニ拂戻シ  
テシマツタナラバ、税金其ノ他ノモノヲド  
ウシマス、又徵收出來マスカ、サウ云フコト  
ハヤツテハ居リマセヌ、會社ノ解散ハ一期  
デモ十期デモ宜シイ、其ノ場合ニハ税金モ  
何モ拂ツテシマツテ、負債ニ關スルモノ、  
取立ニ關スルモノノ事務ガ終了シタ時、株  
主ニ向ツテ拂戻ラスルノデアリマスカラ、  
凡ソ豫メ税ガ是ダケ要ルダラウト云フノデ  
取ツテ置イテ、残リヲ株主ニ配當スルト云  
フコトハヤツテ居リマセヌ、ソレハ私肯定  
致シマセヌ

アリマスガ、此ノ積立金ト云フ言葉ハ、第  
六條ニモ第七條ニモゴザイマス、ソレデゴ  
ザイマスカラ第九條ニ於テ「本法ニ於テ積立  
金額トハ積立金其ノ他名義ノ何タルヲ問ハ  
ズ法人ノ各事業年度ノ所得中其ノ留保シタ  
ル金額ヲ謂フ」斯ウナツテ居リマシテ、第九  
條ニ於キマシテハ、第六條、第七條ニ謂ツ  
テ居ル積立金ト云フノハ、斯ウ云フ意義ダ  
ト云フコトヲ明ニシテ居ル、第九條デ明ニ  
ナツテ居レバ第六條ハ自ラ分ツテ來ル、斯  
ウ云フ譯デアリマス、兩者別ニ矛盾致シマ  
セヌ、全ク同一デゴザイマス

○森田委員 吾々ハ第九條ヲ知ツテ居ルカ  
ラ宜イガ、九條ヲ知ラヌ人間ハ繰越金ノ問  
題ニ付テハ何等抗辯シテ居ラヌ、第九條ガ  
アルカラ繰越金ハ積立金ニ加へルモノダト  
云フコトヲ言フガ、税法ヲ讀マヌ人ハ繰越  
金ガ入ツテ居ルコトヲ知ラヌ、從來之ニ依  
ツテ地方デハ胡麻化サレテ居ルノデアル、  
斯ウ云フコトハヤハリ本法ニ入レテ置クベ  
キデアルト思フ、私ハソレハ九條デ逃ゲテ  
居ルノダト思フノデス、ソレダカラ之ヲ修  
正シナナイデ愈々本法ヲ施行スル際ニハ、地方  
ノ税務署ニ通牒ヲ出ス時ニ、親切ニヤツテ  
ヤル必要ガアルト思フ、サウセヌト税務署  
ハ直グ胡麻化ス、ソレカラ法人ノ繰越損失  
ヲ一年ハ認メルガ、其ノ以前ノハ認メヌト  
云フノハドウ云フ譯デアルカ

○田中政府委員 御承知ノ通り現在デハ一  
事業年度ダケデ損益ヲ計算シテ居リマスガ、  
ソレデハ實際ニ合ハヌ點モアリマスノデ、  
昔ノ繰越缺損ヲ全部認メテハドウカト云フ御  
話デアラウト思ヒマスガ、サウ云フコトニ

致シマスレバ、例ヘバ繰越缺損ヲ其ノ儘残シ居ル會社ハソレラ損金トシテ引カレル、併シ會社ノ整理ヲシテ減資其ノ他ニ依ツテ繰越缺損ヲナクシタモノハ、サウ云フ恩惠ニ與ラナイト云フコトニナリ兩者ノ間ニ不公平ガアリマス、又非常ニ古イ年度ノ缺損ヲ何時マデモ其ノ事業年度ノ損益ニ通算致又只今申シタヤウナ減資ヲ致シタ法人ト、サウデナイ法人トノ間ニ不權衡ガアリマスノデ、一年間ダケ見ルト云フコトニ致シタノデアリマス。

○森田委員 ソレハ衡平デアリマセヌ、今ノ國稅課長ノ御話ノヤウニ、減資ヲシテ整理シテ居ル會社ハアリマスガ、今度臨時利得稅法ト云フモノヲ設ケタ時ニ、資本ヲ減少シテ整理シタモノハ悉ク損ヲサセラレタ、資本金ヲ以前ノヤウニ置イテオケ、バ臨時利得稅ハ課カラズニ濟ム、ソレガ減資ヲシタ爲ニ臨時利得稅ガ課ガツタト云フコトガアル、丁度アナタノ答辯ト逆ニ行ツテ居ル、デアルカラス、大藏省ハ斯ウ云フコトヲラウト、損失ノ繰越金ヲ持ツテ居ル限り、會社ノ内容ヲ良クスルヤウニシテヤラナケレバナラヌ、御考顧ヒタク、取立デル方ノ局モアナタノ方デアルガ、併シソレハ會社ノ内容ヲ悪クスルコトニナリハシマセヌカ、前期繰越損失金ト云フモノヲ二年、三年前ノモノヲ見テヤラヌト、損ガ行ツテモ次ノ期ニ儲ケレバ稅金ヲ取ラレル、例ヘバ今年ノ純益金ガ十万圓アル、併シ一年以上前ニ十万圓ノ缺損ガアルトシマスト、ソレハトンヽデス、稅ノ方ハ今年ノ十万圓ニ對シテ法人稅、臨時利得稅ヲ取ラレル、サウスルト會社ハ借

金ヲシテ納メナケレバナラヌ、是ハ會社ノ  
内容ヲ良クスル所以デモナシ、稅ヲ取ルベ  
キ性質ノモノデモナイ、損ヲスル時ニ別ニ  
補償金ヲヤツテ居ル譯デモアリマセヌ、大  
藏大臣ハ此ノ點ヲドウ思ハレマスカ、又意  
見ガ一致シナイカモ知レマセヌガ、成ルベ  
ク一致スルヤウニ御願致シマス

○櫻内國務大臣 ソレハ理論ト致シマシテ  
ハ、森田サンノ仰シヤル理論ガ通ルト思ヒ  
マス、ナゼナラバ古イ時カラノ、即チ會社  
ガ創立以來損ヲシタ時ハ、其ノ損ヲ其ノ儘  
ニシテ、利益ガアツタ時ハ課稅セラレル、  
損ノ時ハソレヲ引イテ吳レス、斯ウ云フノ  
デアリマスカラ、ソレハ理論トシテハ通り  
マスガ、現在ドウ云フ風ニヤツテ居ルカト  
言ヘバ、現在ハ前期ノ缺損ハ見テ居リマセ  
ヌ、前々期ノモノモ見テ居リマセヌ、即チ  
前期ニ百万圓ノ損ガアツタ、本期五十萬圓  
シカ儲カラナイデ百万圓ヲ「カバーチ」スル力  
ガナイノニ、本期ノ五十萬圓ニ對シテ課稅  
ヲ致シテ居ルノデアリマス、アトヘ何處マ  
デ遡ラシテ行クカト云フコトガ問題ニナル  
ノデアリマシテソレヲ十年モ二十年モ遡ル  
ト云フヤウナコトニリマシタナラバ、ソ  
レハ速モ整理ガ出來ナイノデ、ソコニ於テ  
先ヅ一箇年ガ適當デアラウト云フノデ、一  
箇年ダケ緩和シタ稅法ニナツテ居ルノデア  
リマス、大體ニ於テ二年モ三年モ前ノ損金  
ヲ「カバー」スルト云フ事柄ガ適當デアルカ  
モ知レマセヌガ、是ハ整理ノ上ニ於テ可ナ  
リ困難ナコトデアリマス、隨テ一箇年間ダ  
ケ、昨年度ノ損ダケハ本年ノ利益カラ引ク  
ト云フ事柄ハ、私ハ日本ノ稅務ノ上ニ於テ  
ハ、一大進歩ダト實ハ思ツテ居リマス、ソ  
コデ從來ハ其ノ期ダケデ決算シテ、其ノ期

ダケデ税金ヲ課シタノデアリマスガ、此ノ  
改正點ハ非常ニ事業ヲスル法人、税金ヲ納  
メル法人ノ便宜ニナルノデアリマス、年限  
ヲ何箇年モ何箇年モ通算シテ損ノアル都度  
利益ノ中カラ控除シヨウト云フコトハ、理  
想トシテハ其ノ考ハ御尤モナモノトモ思ヒ  
マスケレドモ、サウハスペキモノデナイ、  
或ル一定ノ期限ハ附サナケレバナラスト云  
フ譯デ、一箇年ト云フ原案ニ賛成シタ譯デ  
アリマス

ハツ御考慮置ヲ願ヒマス、ソレバモウ大臣  
ハ非常ニ御勉強ニナツテ居ルノデ、私モ實  
ハ感心シテ居ルノデスガ、其ノ點ハモウ一  
層御勉強ヲ願ツテ置キマス、ソレカラ昨日  
私ガ問ウテ大藏大臣カラ御答辯ノナカツタ  
問題デスガ、物品稅ノ中ニ昨年削除シタモ  
ノヲ、半年經ツカ經タヌ間ニ又入レタコト  
ハ怪シカラヌデハナイカ、議會ノ審議權ヲ  
無視シタモノデハナイカト云フ質問ヲシ  
タ、茶デアルトカ、齒磨粉、其ノ他四五點  
アリマスガ、昨年削除シタモノヲ、ソツク  
リ其ノ儘載セテ居ル、是ハ委員ガ變ツテ來  
ルトデモ思ツテヤツタノカ知レスガ、怪シ  
カラヌ話デス、大衆ノ衛生上カラモ、生活  
上カラモ必要缺クベカラザルモノバカリ  
デス、此ノ點ニ付テハ大藏大臣ノ道義的、  
政治的ノ御意見ヲ承リタイノデス、去年ノ  
三月此ノ委員會ガ各派一致シテ茶デアルト  
カ——今日先づ休憩シテ一服シヨウト云フ  
茶ニマデ、稅金ヲ課ケルト云フノハ怪シカ  
ラヌ、聊排ハ現在課カツテ居ルガ今度課ケ  
ヨウトシテ居ルノハ日本茶ノコトデス  
ガ、其ノ他ニモ衛生上缺クベカラザル石  
鹹、或ハ齒磨粉、斯様ナモノニ稅金ヲ課ケ  
ルノハイカスト云フノデ昨年削除シタモノ  
ヲ、今年又臆面モナク全部計上シテ居ル、  
一つモ殘サズニ計上シテ居ルコトハ不都合  
デハナイカ、尤モ今言ツタヤウニ、去年ハ  
削除サレタガ、今年ハ通ルダラウト云フ押  
シノ一手デ來タナラバ別問題デス、ソレガ  
一點、モウ一點ハ事務當局ノ答辯デモ宜イ  
ノデスガ、酒稅法第五十條ニ於テハ、水以外  
ノモノヲ混ゼルコトニ付テ規定シテアルダ  
ケデ、水ヲ混ゼルコトニ付テハ何トモ書イ  
テナイガ、水ヲ混ゼルコトハ止メルヤウニ

シタラドウカ、今日水ヲ混ゼル爲ニ色々防腐剤ヲ入レテ居ル、中ニハ劇薬ヲ入レテ居ルコトモ御承知ノ通リデアル、又前ニハ「サルチール」酸ハ市場ニナイカラ、水ヲ澤山入レタモノヲ腐ラセヌ爲ニ他ノ薬品ヲ入レテ居ルコトハ、非常ニ衛生上害ガアルト思フ、所ガ第五十條ニハ水以外ノモノニ付テハ許可ヲ受ケルコトヲ必要トシテアルガ、水ハ入レテモ宜イコトニナツテ居ル、ソコデ水ヲ入レタラ防腐剤ガナケレバ持チマセス、水ヲ自由ニ入レテモ宜イヤウニ許可シテ居ルノデ、ドウシテモ防腐剤ヲ入レナケレバ其ノ酒ハ保タヌ、ソコデ水ヲ何ボマデハ宜シイガ、ソレ以上混ゼヨウト云フ時ニハ許可ヲ要スルト云フヤウニ、ガツチリ括ツテハドウカ、其ノ必要ガアルト思フガ、此ノ二點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○田中政府委員　酒税法第五十條ノ御尋ニ  
ゴザイマスガ、御話ノ通り本條ニ依レバ水  
ヲ酒ニ混和スルコトハ自由ニナツテ居ルノ  
デアリマシテ、此ノ事ハ酒税法本來ノ建前  
カラ申シマシテ、税ヲ取ルコトヲ中心トス  
ル酒税法カラ言ヒマスト、税ヲ取ツタ後ノ  
酒ニ水ヲ混ゼルト云フコトハ税法上デハ禁  
止スペキ問題デハナイト思ハレマスノデ、  
水ニ付テハ自由ニ混和ヲ認メテ居ル譯ニア  
リマスガ、御話ノ通り水ヲ混和シタ結果薄  
クナツテ、其ノ爲ニ防腐剤ヲ増サナケレバ  
ナラヌト云フコトカラ、衛生上ノ見地カラ  
取締ト云フヤウナ問題が起リマセウシ、又  
公定價格ガアルノデ、水ヲ割ツテ公定價格  
ヲ潜グルト云フヤウナコトモアリ、サウ云  
フ方面カラ取締ヲシナケレバナラヌト云フ  
コトニ付テハ、多々考フベキ問題ガアラウ  
ト思ヒマス、併シ税法ト致シマシテハ、ソ  
コマデ行クノハ如何デアラウカト云フ趣旨  
カラ、水ノ混和ハ從來通り酒税法上ハ認メ  
ルコトニ相成ツテ居ル次第ゴザイマス  
○森田委員　其ノ點ハ時間ガナイカラ押合  
ヒヲシマセスガ、水ヲ混亂スルコトヲ認メ  
ルノガ惡イト思フ、第五十條デ水デアラウ  
ト何デアラウト混和スルニ付テハ、許可ヲ  
ノデアル、自分ノ書畫イタモノハト云フヤウ

トカ修正シナケレバイカスト思フ、水以外ノモノハ許可ヲ要スルガ、水ハ幾ラ入レテモ宜イト云フコトハ、觀念ガ既ニ間違ツテ居ルシ、其ノ觀念ヲ酒造業者ナドニ植付ケルコトハイカヌト思フ、ソコデ總理大臣ト遞信大臣ニ對スル質問ヲ留保シテ、大藏省ニ對スル分ハ是デ宜シウゴザイマス  
○堀切委員長 尚ホ機會ガアリマシタナラバサウ云フコトニ致シマス、森田サンノ昨日ノ御質問ニモ關聯シタ一ツノ書面ガ來テ居リマスノデ、此ノ外委員長ノ所ニハ澤山色々ナ書面ガ來テ居リマスガ、是ハ特ニ御念入リデ、委員長及ビ委員御一同様ニ御回覽ヲ願フトアリマシテ、尤モナ趣意トモ思ヒマスノデ、一寸其ノ趣意ヲ朗讀致シマス「不動産所得ニモ基礎控除ヲ認ムルコト、右不可能ノ場合ニハ原價償却（家屋）ヲ認ムルコト、自己ノ實情 小生ハ年額二千圓ノ所得ノ所、小供五人控除ノ結果千五百圓ノ査定ニテ、稅額附加稅ヲ加ヘテ現行法ニ依ツテ三十圓餘」是ハ主稅局ノ方デ計算シテ戴イタラ約三十圓ニナルサウデス、「然ルニ新稅制ニ依レバ扶養家族ヲ控除シテ百四十圓トナリ、五倍ノ激増トナル、家賃ハ統制令ニ依リ釘付」是ハ聽イテ見マシタ所細君ガアルニ相違ナイカラ、細君ノ分ノ控除ヲスレバ百二十八圓ニナルト云テ退學ノ止ムナキニ至ル次第、親子ノ情ト云フヤウナ激増ニナルノデアリマス、ソレデナル」ソレデ何トカシテ戴キタイト云フノデス、回覽ヲ願ヒタイト云フノデスガ、今

議ヲ閉デマス

ヲ諸税負擔後ニ於テ個人ニ配當シタ個人所得ノ税負擔後ノ割合之ヲ換算シテ見ルト、一割ノ利益率ガ諸税負擔後ニ於テドウ云フ割合ニナルカト云フト、凡ソ法人ノ利益率ガ七分強ニナル、ソレカラ二割ノ利益率ガアツタ場合ニハ、諸税負擔後ノ會社ノ利益

ト、法定積立金ヲ廃シテ、アトハ全部配當スルト云フコトハ、先づ比較的少ノイデアリマシテ、最近ノ各會社ノ狀況ヲ見マシテモ、利益金ノ平均三割七八分、四割近クハ社内留保ヲシテ居ルヤウナ狀況デアリマス、隨テ創立後漸次事業年度ノ進ムニ從ヒマシテ、此ノ社内留保ノ金額モ相當多クナルト思フノデアリマス、而シテ稅務ノ計算策得利

此ノ程度ノ負擔ハ差支ナカラウ、今後ノ状況ニ付キマシテハ、今後ノ經濟界ノ推移ヲ見テ、判断シテ行クヨリ外ナイト存ジマス  
○山本委員 私ハ何故此ノ點ヲ詳シケ御尋ニイカト申シマスト、個人ノ所得ノ諸稅負擔後ニ於ケル純收入ガ、大體公債依存ノ財政計畫ヲ立テ居ル間ハ、公債消化ト睨ミ合セル事が非常ニ重大ダト思フ、現在三分五厘ノ公債利子ニ付テハ、政府當局ハ當

○山本委員 場合委員長、ソレテノ開會到來の事

総合所得稅云拵シ又残りノ個人ノ課稅負擔  
後ノ所得ハ、凡ソ四分強ニナル、二割ノ場  
合、即チ諸稅負擔後ノ法人利益率ガ一割一  
分強ニナツタ場合ニハ、個人ノ場合ニ於テ

益率申シ、スルノハ、拠込資本ノナリ、デナク、各種ノ積立金ヲモ加ヘマシタ實際ノ運用資本金額ニ對スル割合ヲ云フノデ、ナツテ行クニ從ヒマシテ、拂込金額ニ對スリマスノデ、同ジク一割或ハ一割五分ノ利益率ト致シマシテモ、社内留保ガ漸次多ク

分五厘ノ公債利子ニ付テノ 政府當局ノ違  
分ノ間、或ハ長イ期間、即チ少クモココ  
一二年、數年ノ間ニハ公債利子ノ引下トカ  
或ハ引上ト云フ、ヤウナコトヲ、御考ニナツ  
テ居ラヌト云フコトハ、私モ承知シテ居ル  
ノデアリマス、現在程度ノ三分五厘ノ公債  
利子ノ所得ガ、其ノ利子所得ニ對スル稅金

問應答ガアリマシタガ、其ノ大體ヲ拜聽致シマスト、結局今度ノ税制改革案ニ於テ問題ニナリマスノハ、第一ニ果シテ負擔ノ均衡ガ得ラレテ居ルカドウカ、第二ニ今度ノ税制改革ニ依ル消費税ガ物價ニ影響スルコトハ認メレケンドモ、消費稅以外ノ税方

分強ニナツタ場合ニハ、個人ノ場合ニ於テ  
ハ、五分五厘強ニナル、大體斯ウ云フ計算  
ガ出テ來ルノデアリマス、ソコデ此ノ法人  
ガ一割ノ利益率ヲ舉ゲテモ、諸税負擔後ニ  
於テソレガ配當セラレテ、而シテ個人ガ所  
得シテ、其ノ中カラ諸税ヲ全部負擔シタ殘  
リガ四分強ニナリ、二割ノ場合ニハ五分五

リマスノデ、同ジク一割或ハ一割五分ノ利益率ト致シマシテモ、社内留保ガ漸次多クナツテ行くニ從ヒマシテ、拂込金額ニ對スル割合ガ、相當増加シテ參ルト思フノデアリマシテ、隨ヒマシテ此ノ社内留保ガ相當殖エテ參リマスト、資本ニ對スル利廻ハ一割程度ト致シマシテモ、一割近クノ配當ハ稅ヲ納メタ後モ爲シ得ルト云フ狀況ニナルノデハナカラウカト存ズル次第デアリマス

テ居ラヌト云フコトハ、私モ承知シテ居ルノデアリマス、現在程度ノ三分五厘ノ公債利子ノ所得ガ、其ノ利子所得ニ對スル税金ヲ負擔シタ後ノ個人ノ純收入ト、株式ヲ取得シタル場合ノ個人ノ純收入トガ餘リニカケ隔ツタ狀態ニアルト云フコトハ、公債消化ヲ鈍化セシメル一ツノ原因ダト考ヘテ居ル、サウ云フ見地カラ御尋スルノデスガ、主税局長ノ御答辯ニ依ツテ見マスルト、尙

物價政策ト矛盾シナイカト云フ此ノ二ツノ問題ガ重要ナ問題トシテ論議セラレテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ其ノ二ツノ觀點トモウーツ、今度ノ増稅ニ依リマシテ、大體公責依存ノ財政部分ト脱役依存ノ財政部分

厘ニナルトスレバ、擔稅力ハ此ノ程度シカ  
ナイ、又此ノ程度ノ所得ニナレバ擔稅力ガ  
アルカラ、増稅ヲシテモ負擔能力アリト認  
メラレルノカ、此タ點ニ對スル政府ノ御所  
見ヲ伺ヒタイ

稅ヲ納メタ後モ爲シ得ルト云フ状況ニナル  
ノデハナカラウカト存ズル次第デアリマス  
尙ホ今後増稅ノ餘地アリヤ否ヤト云フコ  
トヲ申上ゲマスト、私ハ是ハ抽象的ニハ申  
上ガル譯ニハ行カナイト思フノデアリマシ  
テ、今後我國ノ産業ガ、從前通り引續キ好  
況ニ向ツテ行ツテ、収益率モ高クナツテ行  
クト云フ状況ニナリマスレバ、尙ホ負擔餘

化ノ鎮化セシメル一ツノ原因ダト考ヘテ居ル、サウ云フ見地カラ御尋スルノデスガ、主税局長ノ御答辯ニ依ツテ見マスルト、尙ホマダ餘程ノ配當率ニナリ得ルト云フ風ニモ受取レルノデアリマス、サウスルト公債消化ノ見地カラ考ヘテ見ルト、個人所得ノ純收入ガ、大凡公債ノ持ツテ居ル純收入ト、大體「バランス」ガ取レル程度マデハ、悠ニ擔稅能力アリト見テ、ソレヲ睨ミ合シテ増稅

ルカドウカ、即チ換言スレバ、サウ云フ見  
地カラ増税ガ近キ将来ニアルノカナインカ、  
斯ウ云フ觀點カラ三ツニ局限シテ御尋ヲ申  
上ゲタイト思フノデアリマス、第一ニ現在  
ノ企業主體デアル法人ノ利益ヤ個人ノ所得

法人ノ負擔ガ此ノ程度ニナル、而シテ其ノ利益ヲ配當シタ後、個人ニ對スル所得稅ヲ差引クト、此ノ程度ニナル、而シテ是ガ尙ホ増稅ノ餘地ガアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、今御擧ゲニナツク數字ハ、法人ガ全然積立金ナシノ場合デアリマシテ、而シ

況ニ向ツテ行ツテ、收益率モ高クナツテ行  
クト云フ狀況ニナリマスレバ、尙ホ負擔餘  
力ガアルデハナイカト存ジマス、ソレガ若  
シモ下リ坂ニナルト云フコトニナリマスト、  
現在ノ負擔程度モ、中々困難ニナツテ來ル  
デハナカラウカト存ズルノデアリマス、昭  
和十二年以降、數度ノ増税ニ依リマシテ、  
法人ノ負擔ハ相當重クハナツテ來テ居リ

ホ何二パーセント」位マデハ増税ガ可能ニア  
ルト政府當局ハ見テ居ルノカ、即チ資料ニ  
依リマスト、大體資本金二百万圓ノ會社ガ  
拂込済デ、而モ積立金ガナイ法人ガ一割ノ  
利益ヲ擧ゲタ場合、而シテ其ノ一割ノ利益

テ利益ノ内、稅ニ相當スル分ヲ引去ツタ後  
ハ、二十分ノ一ノ法定積立金ダケラシテ、  
全部配當シタ、斯ウ云フ場合ダケヲ前提ト  
致シマスレバ、仰セノ通りニナツテ居リマ  
ス、併シ實際各法人ノ經營ノ狀況ヲ見マス

イマノルカ申フマテモナク公債ノ確定利  
附債券デアリマス、株式ハ時價ガ常ニ變動  
シテ居リマス、配當率モ時ニ依ツテ違ツテ  
行ク、斯ウ云フノデアリマスルカラシテ、  
此ノ兩者ヲ同一基礎ニ置キマシテ、公債ニ

對スル稅引利廻ト、株式ノ配當ヲ固定的ニ見テ、ソレノ稅引利廻ト比較スルノハ、聊カ當ヲ得ナイモノガアルデハナカラウカト存ズルノデアリマス、世間ニ於キマシテ能ク株式ニ對スル課稅ハ、多額所得者ニナルニ從ツテ、超過累進稅率ニ依ツテ課稅セラレルカラ手取ガ少クナル、此ノ度ノ改正案ニ依リマシテモ、所得金額八万圓以上ノモノニアツテハ、國債ニ投資スルヨリモ株式ニ投資スル方ガ大體不利ニナル、隨テ大所得者ノ株式投資ヲ不利ナラシメル稅制デアツテ、產業資本處待ノモノデアル、斯ウ云フコトヲ能ク言ハレルノデアリマスケレドモ、私ハ之ニ對シテ相當ノ疑ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、ソレハ株式ハ表面ノ利廻五分五厘ニナルト云フコトヲ前提トシテ居ル議論デゴザイマス、ソレハ配當率デハゴザイマセヌ、株式ノ時價ニ對シテ配當金額ガ大體五分五厘ニ廻ルト云フコトヲ前提ニシテ居ルノデアリマスケレドモ、最近ノ經濟界ノ狀況ヲ見マシテモ、一年間ノ中ニ變動ノ相當激シモノガアリマシテ、株價ガ二三割モ騰落スルト云フ風ニナルト、所謂表面利廻モ非常ニ動イテ來ルノデアリマス、五分五厘ノモノガ五分ニナルトカ、或ハ六分トカ六分五厘ニナルト云フ狀況デアリマシテ、隨テ株式投資ヲ表面利廻五分五厘ニ釣付ニ致シマシテ、國債トノ利廻關係ヲ見テ、稅制ノ爲ニ株式投資ガ國債投資ノ方ニ向ツテ行クト云フコトヲ論ズルノモ、一概ニ是認スル譯ニハ行カナイト思フノデアリマス、ソレカラ資產家等ニ於キマシテ、長期ニ瓦ツテ投資スルモノハ目前ノ株式ノ利廻ヲ見ルモノデハゴザイマセヌ、多ク五年、十年ノ先マデ見テ、將來有望ノ株式デ

アレバ差當リ利廻ガ惡クテモ投資スルト云ノデアリマス、隨テサウ云フ株ニ投資シテ、初メテ五分五厘ニ廻ラナイト致シマシテモ、漸次其ノ會社ノ內容ガ充實シテ參リマスレバ、配當マデモ漸次向上シテ來ル譯デゴザイマシテ、五年經チ十年經ツト當初ノ投資額ニ對シテ八分ニモ廻リ一割ニモ廻ルト云フコトニナルノデアリマス、若シモ一割ニ廻ルト云フコトニナリマスレバ、國債投資トノ利廻關係ヲ見レバ三十萬圓、五十萬圓ノ所得者ニ於テモ、寧ロ株式投資ヲ有利トスルト云フコトニナルト思フノデアリマス、昭和六七年頃マデハ國債等モ、御承知ノ通り五分五厘デアリマシタガ、其ノ後低金利政策ノ進展ニ連レマシテ、國債ハ現在三割五分程度ニナツテ居ル、一面ニ於テ株式ノ方ハ低金利ノ影響モ受ケマシテ、寧ロ配當率モ向上シテ居ルト云フヤウナ關係デゴザイマスカラ、ココ約十年バカリノ間ニ於テモ、兩者ヲ所謂稅引手取ト云フモノニ、非常ニ變化ガ來テ居ルノデアリマス、隨テ目前ノ相場ニ依ツテ稅引利廻ヲ見テ、八万圓以上ノ株式投資ハ國債投資ヨリモ制ニ於テ不利ニナツテ居ルカラ、今回ノ稅制改正ハ株式投資ヲ非常ニ不利ナラシムルモノト云フ風ニ斷ジ得ナイノデハナカラウカト思ヒマス、要スルニ現在及ビ將來ニ於ケル我國ノ經濟界ノ狀況ヲ見テ、此ノ程度ノ増稅デ果シテ產業界ガ打撃ヲ受クルヤ否ヤ、或ハ國債消化ニ支障ヲ來スヤ否ヤト云フコト能ク檢討致シテ、彼此見比べテ稅率ヲ決定スペキモノト思ヒマス

○山本委員 ソレカラ先ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、其ノ點ハ其ノ程度ニ止メテケレドモ、尙ホ大キナ見地カラ承リタイノデ

アリマスガ、政府殊ニ大藏當局ハ現在ノ我國ノ財政狀態、即チ公債依存ノ部分ト稅收依存ノ財政部分トノ割合ガ、現在ノヤウナ割合ヲ以テ適當ナリト思料セラレテ居ルノカ、或ハ尙ホ稅收依存ノ部分ヲ高メ得ルトデゴザイマシテ、五年經チ十年經ツト當初ノ投資額ニ對シテ八分ニモ廻リ一割ニモ廻ルト云フコトニナルノデアリマス、若シモ一割ニ廻ルト云フコトニナリマスレバ、國債投資トノ利廻關係ヲ見レバ三十萬圓、五十萬圓ノ所得者ニ於テモ、寧ロ株式投資ヲ有利トスルト云フコトニナルト思フノデアリマス、昭和六七年頃マデハ國債等モ、御承知ノ通り五分五厘デアリマシタガ、其ノ後低金利政策ノ進展ニ連レマシテ、國債ハ現在三割五分程度ニナツテ居ル、一面ニ於テ株式ノ方ハ低金利ノ影響モ受ケマシテ、寧ロ配當率モ向上シテ居ルト云フヤウナ關係デゴザイマスカラ、ココ約十年バカリノ間ニ於テモ、兩者ヲ所謂稅引手取ト云フモノニ、非常ニ變化ガ來テ居ルノデアリマス、隨テ目前ノ相場ニ依ツテ稅引利廻ヲ見テ、八万圓以上ノ株式投資ハ國債投資ヨリモ制ニ於テ不利ニナツテ居ルカラ、今回ノ稅制改正ハ株式投資ヲ非常ニ不利ナラシムルモノト云フ風ニ断ジ得ナイノデハナカラウカト思ヒマス、要スルニ現在及ビ將來ニ於ケル我國ノ經濟界ノ狀況ヲ見テ、此ノ程度ノ増稅デ果シテ產業界ガ打撃ヲ受クルヤ否ヤ、或ハ國債消化ニ支障ヲ來スヤ否ヤト云フコト能ク檢討致シテ、彼此見比べテ稅率ヲ決定スペキモノト思ヒマス

○山本委員 ソレカラ先ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、其ノ點ハ其ノ程度ニ止メテケレドモ、預金部資金局長ガ御見エニナツ依ルト、分與稅其ノ他ニ依ツテ、ソレ等ヲテ居ルヤウデスカラ、便宜上順序ヲ變ヘテ一點御伺シテ見マス、ソレハ地方稅改正ニ關係ノアル問題、内務當局ニ御尋シテ回答ヲ得マシタノデ、大藏省ニ御尋スルノデアリマスガ、内務省デハ今度ノ地方稅改正ニ依ルト大藏當局ハ反對デハナイガ、未ダ點ヲ考ヘテ地方團體ニ、中央金庫制ヲ創設スル意思ガアル、而モソレハ近キ將來ニ於テ御審議ヲ願フコトヲ考ヘテ銳意研究中デアル、大體ノ腹案モ斯ウダト云フ程度ノ答辯ヲ得タノデアリマス、ソコデ私ハ尙ホ突テ御尋ねテ大藏當局ハ如何ナル考ヲ持ツテ居ルカラ、恐ラク大藏當局ハ反對デハナイガ、未ダカト云フコトモアリマスガ、先づ經濟政策トノ調和ヲ十分ニ考ヘテ、此ノ程度ノ負擔進ムノ外ハナイト思ヒマス、隨テ今回ノ增稅ニ於キマシテモ、稅制ノ改正ニ負擔ノ均衡ト云フコトモアリマスガ、先づ經濟政策トノ調和ヲ十分ニ考ヘテ、此ノ程度ノ負擔ナラバ國民ハ堪ヘルデアラウト云フ所ヲ大體押ヘテ、今度ノ增稅額ヲ決メタ譯デアリマシテ、是ハ大體出來ルダケ國民ニ負擔サセ、出來得ナイ所ハ公債ヲ以テ支辨シテ行クト云フ方針ヲ以テ進ム外ハナイト思ヒマスソレカラ更ニ今後增稅ノ餘地ガアルカドウカ、更ニ稅收入ヲ殖ヤス餘地ガアルカト云フ御尋デアリマスガ、是モ今マデ御答辯致シマシタヤウニ、先づ此ノ際トシテハ、今度ノ增稅額位ガ適當ナツテ、今後非常ナル國際情勢等ノ變化ナキ限りハ、是以上ニ増稅ヲ爲ス考モナイシ、又無理デアラウト考ヘテ居ル次第アリマス

○山本委員 少シク質問ノ順序ガ變リマスラ私ハ御尋スルノデス、今度ノ稅制改正ニ

順次補ツテ行カレルコトハ認メマスガ、不時ノ災害ヲ應急的ニ處置スルニハ甚ダ不便デアル、ソコデ事實上サウ云フコトガ澤山起ツテ來ルトハ思ヒマセヌシ、又不時ノ灾害ガ澤山アツテハ大變デアル、無イ方ガ宜イシ、又始終起ツテ來ルトハ豫想致シマセヌガ、サウ云フコトガアツタ場合ニ中央金庫制ガアレバ比較的容易ニ財政的ニ救濟ガ出來ル、ソコデ中央金庫制ヲ持ヘタラドウカト云フ御尋ヲ申上ゲタノデスケレドモ、段々聽イテ見マスト、尙ホ調べテ見マスト、中央金庫制ヲ持ヘテモ、大藏省ノ預金部ノ金ヲ、現在貸出サレテ居ルヤウナ三分二厘ノ低金利デ貸出シヲ受ケルト云フコトハ中々困難ナ事情ニナツテ來ルコトハ數理上明カナンデス、ソコデ内務省ハ中央金庫制ハ持ヘヨウト云フ意向ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレガ假リニ出來ナクテモ、ソレヨリモソット簡易ニ、而シテ地方團體ノ行政機構ノ運用ニ便利ナ爲ニハ、寧ろ預金部ガ起債認可ガナクテモノ分與税ヲ見返リニスルナリ、其ノ他ノ收入ヲ見返リニスルナリシテ、簡易ニ地方團體ニ低利デ、即チ現在府縣等ニ貸付ケテ居ルヤウナ低金利デ、災害ヲ救濟スル資金ヲ貸出シテヤルト云フコトニシタラ、是ハ一番宜イ、而シテソレガ容易ニ運用セラレル方法デハナカラウカ、斯様ニ考へテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル大藏當局ノ御意向ヲ承リタイ〇廣瀬政府委員只今ノ御質問ニ對シマシテ御答申上ゲタイト思ヒマス、只今ノ御話デゴザイマシタガ、是ハ多少分ケテ考ヘ

モノデアリマシテ、此ノ分ハ假令資金ノ融通ヲスル方面ニ於キマシテ、早ク貸出シタリト思ヒマシテモ、認可ガナケレバ借入ガ出来ナイ譯デアリマス、併シナガラ只今仰セニナリマシタ分ハ多分年度内ノ借入デアリマシテ、年度内ノ短起債、即チ當該年度ニ借入レテ當該年度ニ返還スルト云フ分ノ御話ダト思フノデアリマス、サウ云フ分ニ付キマシテハ只今モ御話ノアリマシタヤウニ、現ニ大藏省預金部ニ於キマシテ、六大城市及ビ道府縣ニ對シマシテハ迅速ニ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ今後ニ付キマシテハナツタヤウナ必要ガアリマス、現ニ大藏省預金部ニ於キマシテ、六大城市及ビ道府縣ニ對シマシテハ迅速ニ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ他ノ六大都市以外ノ市町村ニ對シマシテハ、未ダ預金部カラ直接貸出ヲスルト云フ建前ニハナツテ居リマセヌノデアリマス、ソコデ應急ノ必要ナル場合ニ不便デハナカト云フ御意見デゴザイマスガ、ソレハ或る程度御尤モデアルト思フノデアリマス、併シナガラ是モ現在ノ制度ノ運用ト致シマシテ、ヤラウト思ヘバ出來ル方法ガアルノデアリマス、例ヘバ今日デ申シマスレバ、預金部カラ道府縣ニ貸出シマシテ、道府縣ガ其ノ當該市町村ニ貸出スト云フコトニ致シテ、ヤラウト思ヘバ出來ル方法ガアルノデアリマス、併シナガラ預金部ガ更ニ直接ニ出シ得シテヤウニ、地方團體ノ財政需要ニ應ズル爲ニ、中央金庫ヲ作ツタラドウカ、斯ウ云フコトハ從來内務省ノ内ニ於キマシテモ、相當計畫ガ進メラレテ居ルヤウデアリマス、併シハ今預金部資金局長カラモ申上ゲマシマスレバ動カナイコトハナインデアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナイカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日ルト云フコトニ致シマスレバ更ニ便利ナ譯デアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日マデノ實情カラ申シマスト、大體ノ市町村ニ於キマシテハ、當該地方ニ於キマスル地主銀行ニ於テサウ云ツタ短期ノ資金デアリマスカラ、比較的低利ニ便宜ニ融通ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ現實ノ問題ト致シマシテ、大藏省預金部ニソレ程

起債認可ト申シマス分ハ長期ノ起債ニ當ルモノデアリマシテ、此ノ分ハ假令資金ノ融通ヲスル方面ニ於キマシテ、早ク貸出シタリト思ヒマス、尙ホ昨年私共ノ方デ、各市町村ニシテ居ルモノガドノ位アルカト云フコトヲ御話ダト思フノデアリマス、併シナガラ今後ニ付キマシテサウ云ツタヤウナ必要ガアリマス、現ニ大藏省預金部ニ於キマシテ、六大城市及ビ道府縣ニ對シマシテハ迅速ニ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ他ノ六大都市以外ノ市町村ニ對シマシテハ、未ダ預金部カラ直接貸出ヲスルト云フ建前ニハナツテ居リマセヌノデアリマス、ソコデ應急ノ必要ナル場合ニ不便デハナカト云フ御意見デゴザイマスガ、ソレハ或る程度御尤モデアルト思フノデアリマス、併シナガラ是モ現在ノ制度ノ運用ト致シマシテ、ヤラウト思ヘバ出來ル方法ガアルノデアリマス、例ヘバ今日デ申シマスレバ、預金部カラ道府縣ニ貸出シマシテ、道府縣ガ其ノ當該市町村ニ貸出スト云フコトニ致シテ、ヤラウト思ヘバ出來ル方法ガアルノデアリマス、併シナガラ預金部ガ更ニ直接ニ出シ得シテヤウニ、地方團體ノ財政需要ニ應ズル爲ニ、中央金庫ヲ作ツタラドウカ、斯ウ云フコトハ從來内務省ノ内ニ於キマシテモ、相當計畫ガ進メラレテ居ルヤウデアリマス、併シハ今預金部資金局長カラモ申上ゲマシマスレバ動カナイコトハナインデアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナイカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日ルト云フコトニ致シマスレバ更ニ便利ナ譯デアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日マデノ實情カラ申シマスト、大體ノ市町村ニ於キマシテハ、當該地方ニ於キマスル地主銀行ニ於テサウ云ツタ短期ノ資金デアリマスカラ、比較的低利ニ便宜ニ融通ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ現實ノ問題ト致シマシテ、大藏省預金部ニソレ程

切實ナル要求ト申シマスカ、希望ト申シマスカ、サウ云ツタモノガ起ラナイノデアリマス、尙ホ今年私共ノ方デ、各市町村ニシテ居ルモノガドノ位アルカト云フコトヲ御話ダト思フノデアリマス、併シナガラ今後ニ付キマシテサウ云ツタヤウナ必要ガアリマス、現ニ大藏省預金部ニ於キマシテ、六大城市及ビ道府縣ニ對シマシテハ迅速ニ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ他ノ六大都市以外ノ市町村ニ對シマシテハ、未ダ預金部カラ直接貸出ヲスルト云フ建前ニハナツテ居リマセヌノデアリマス、ソコデ應急ノ必要ナル場合ニ不便デハナカト云フ御意見デゴザイマスガ、ソレハ或る程度御尤モデアルト思フノデアリマス、併シナガラ是モ現在ノ制度ノ運用ト致シマシテ、ヤラウト思ヘバ出來ル方法ガアルノデアリマス、併シナガラ預金部ガ更ニ直接ニ出シ得シテヤウニ、地方團體ノ財政需要ニ應ズル爲ニ、中央金庫ヲ作ツタラドウカ、斯ウ云フコトハ從來内務省ノ内ニ於キマシテモ、相當計畫ガ進メラレテ居ルヤウデアリマス、併シハ今預金部資金局長カラモ申上ゲマシマスレバ動カナイコトハナインデアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナイカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日ルト云フコトニ致シマスレバ更ニ便利ナ譯デアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日マデノ實情カラ申シマスト、大體ノ市町村ニ於キマシテハ、當該地方ニ於キマスル地主銀行ニ於テサウ云ツタ短期ノ資金デアリマスカラ、比較的低利ニ便宜ニ融通ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ現實ノ問題ト致シマシテ、大藏省預金部ニソレ程

切實ナル要求ト申シマスカ、希望ト申シマスカ、サウ云ツタモノガ起ラナイノデアリマス、尙ホ今年私共ノ方デ、各市町村ニシテ居ルモノガドノ位アルカト云フコトヲ御話ダト思フノデアリマス、併シナガラ今後ニ付キマシテサウ云ツタヤウナ必要ガアリマス、現ニ大藏省預金部ニ於キマシテ、六大城市及ビ道府縣ニ對シマシテハ迅速ニ貸出ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ他ノ六大都市以外ノ市町村ニ對シマシテハ、未ダ預金部カラ直接貸出ヲスルト云フ建前ニハナツテ居リマセヌノデアリマス、ソコデ應急ノ必要ナル場合ニ不便デハナカト云フ御意見デゴザイマスガ、ソレハ或る程度御尤モデアルト思フノデアリマス、併シナガラ是モ現在ノ制度ノ運用ト致シマシテ、ヤラウト思ヘバ出來ル方法ガアルノデアリマス、併シナガラ預金部ガ更ニ直接ニ出シ得シテヤウニ、地方團體ノ財政需要ニ應ズル爲ニ、中央金庫ヲ作ツタラドウカ、斯ウ云フコトハ從來内務省ノ内ニ於キマシテモ、相當計畫ガ進メラレテ居ルヤウデアリマス、併シハ今預金部資金局長カラモ申上ゲマシマスレバ動カナイコトハナインデアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナイカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日ルト云フコトニ致シマスレバ更ニ便利ナ譯デアリマス、併シソレガナゼ今日實現シテ居ナカト云フ點ニナリマスト、是ハ今日マデノ實情カラ申シマスト、大體ノ市町村ニ於キマシテハ、當該地方ニ於キマスル地主銀行ニ於テサウ云ツタ短期ノ資金デアリマスカラ、比較的低利ニ便宜ニ融通ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ現實ノ問題ト致シマシテ、大藏省預金部ニソレ程



ル時ハ、其ノ營業ヨリ生ズル所得金額ニ、百分ノ四ヲ乗ジテ算出シタル金額ニ相當スル法人稅ヲ輕減スルト云フ特別ノ措置ヲ講ジテ居ルノデアリマス、將來満洲國ノ稅制、或ハ支那ノ新政權ノ下ニ於ケル稅制ガ、相當整備シテ參リマスレバ、是等ト我國トノ間ニ於テ、二重課稅防止ノ特別ノ措置ヲ講ジナケレバナラヌカト存ジテ居リマスケレドモ、現在ニ於キマシテハ、満洲國ノ稅稅モ餘り我國ノ法人稅ト云フヤウナモノニ依存スル所モ少ナインデアリマシテ、此ノ度ノ改正ニ當リマシテハ、特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケナカツタノデゴザイマスルケレドモ、將來満洲國、或ハ支那新政權ノ下ノ稅制ノ仕組如何ニ依ツテハ、十分ニ考究セラレナケレバナラヌコトカト存ジマス、其ノ他ノ歐米各國トノ關係ニ付キマシテハ、理論上、相當之ニ關スル問題ハアリ得ベキ筈デアリマスケレドモ、從來ノ稅法ノ施行狀況カラ見マシテ、此ノ際特ニ各國ト條約ヲ結ンデマデ、何カノ措置ヲ執ラナケレバナラスト云フ程度ノモノハ見當ラナイノデアリマス、ケレドモ今後若シモサウ云フ事態ガアル場合ニハ、十分ニ考究シナケレバナラヌ問題カト存ジテ居リマス

○山本委員 其ノ點ハ此ノ程度ニ止メテ置キマスガ、更ニ御伺致シタインハ、同僚ノ共ガ實業ニ「タッチ」シテ見テ、杜撰デアルト云フト語弊ガアリマスケレドモ、單價ガ高イ、海軍ノ經理局長ノ説明ニ依リマスト、大凡ソ一割二三分ノ利益率ヲ見テ單價ヲ出シテ居ルト云フヤウナ、御答辯ノヤウニ拜

聽シタノデアリマスガ、政府ノ出ス註文ガ、ドウ考ヘテ見テモ、マダ單價ガ高過ギル、之ヲ相當是正シテモ、現在ノ生產擴充ニ大シテジナケレバナラヌカト存ジテ居リマスケレドモ、現在ニ於キマシテハ、満洲國ノ稅稅モ餘り我國ノ法人稅ト云フヤウナモノニ依存スル所モ少ナインデアリマシテ、此ノ度ノ改正ニ當リマシテハ、特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケナカツタノデゴザイマスルケレドモ、將來満洲國、或ハ支那新政權ノ下ノ稅制ノ仕組如何ニ依ツテハ、十分ニ考究セラレナケレバナラヌコトカト存ジマス、其ノ他ノ歐米各國トノ關係ニ付キマシテハ、理論上、相當之ニ關スル問題ハアリ得ベキ筈デアリマスケレドモ、從來ノ稅法ノ施行狀況カラ見マシテ、此ノ際特ニ各國ト條約ヲ結ンデマデ、何カノ措置ヲ執ラナケレバナラスト云フ程度ノモノハ見當ラナイノデアリマス、ケレドモ今後若シモサウ云フ事態ガアル場合ニハ、十分ニ考究シナケレバナラヌ問題カト存ジテ居リマス

○山本委員 其ノ點ハ此ノ程度ニ止メテ置キマスガ、更ニ御伺致シタインハ、同僚ノ共ガ實業ニ「タッチ」シテ見テ、杜撰デアルト云フト語弊ガアリマスケレドモ、單價ガ高イ、海軍ノ經理局長ノ説明ニ依リマスト、大凡ソ一割二三分ノ利益率ヲ見テ單價ヲ出シテ居ルト云フヤウナ、御答辯ノヤウニ拜

聽シタノデアリマスガ、政府ノ出ス註文ガ、ドウ考ヘテ見テモ、マダ單價ガ高過ギル、之ヲ相當是正シテ居リマス、是等ヲ以テ全ノ影響アリタルモ、政府ガ堅持シナケレバナラナイ低物價政策ヲ確保シテ行キマスノニハ、此ノ莫大ナ豫算ヲ運用スル政府ノ註文ヲ出ス者ガ、是ガ一番現在ノ日本ノ產業界ノ大キナ註文主デス、是以上ノ註文主ハ殆ドナイ、ソレガ單價ヲ十分ニ考慮シテ註文ヲ出サナイト、其處ニ莫大ナ餘剩利益ヲ生ズル結果ニナルノデアリマス、莫大ナル餘剩利益ガ出テ來ルノハ、是ハ企業家ガ非常ニウマイコトヲヤルカラグ、仕事ヲスル者ガ非常ニ適當ナル最低ノ價格デ上ルヤウナ經營ノ仕方ヲ持ツテ居ルカラ、サウ云フヤウニ安ク出來ルノダト云フ見方モアリマセウケレドモ、日本ノ現在ノ資本程度ノ企業狀態ハ自ラ限度ガアル、甲ガヤツチモ、乙ガヤツチモ、日本ノ現在ノ資本程度ノ企業狀態ハノデアリマス、所ガ政府カラ註文ヲ受ケテ居る産業方面ガ實際非常ナ利益率ヲ擧ゲテテモ生産費ニサウ莫大ナ差ガ生ジテ來ナイテモ、日本ノ現在ノ資本程度ノ企業狀態ハノデアリマス、所ガ政府カラ註文ヲ受ケテ居ル、理窟ハサウヂヤナイト仰シヤルカモ知レマセヌケレドモ、實際舉擧ガテ居ル、是等ニ對シテ、成程大藏當局ダケガ監督シテ居ル、理窟ハサウヂヤナイト仰シヤルカモ知レマセヌケレドモ、恐らく大藏當局ハ色々ノ質問ノ中ニモアリマシテ、海軍ノ經理局長カラ御答ガアツタヤウデアリマスガ、政府ガ民間企業ニ出ス各種ノ註文ガ、實際私共ガ實業ニ「タッチ」シテ見テ、杜撰デアルト思ヒマス、私ハ事實ノ一例ヲ申上ゲルト、註文ヲ出スコトガ出來ナインデアルカモ知レマセヌケレドモ、日本ノ政府トシテ考ヘテ見タ時ニ、是ハ非常ニ重大ナ問題デアルト思ヒマス、私ハ事實ノ一例ヲ申上ゲルト、七八錢テ受ケテ來テ居ル、ソレヲ工場ア穴直徑一寸ノ砲金ノ中ヘ直徑五分ノ穴ヲアケル、長サー一寸ノ砲金ノ註文ヲ大凡ソ現在十

ルカト云フト、其ノ砲金ノ中カラ出タ、穴ヲアケタ屑ヲ賣拂ヒマスト、工賃ヲ拂ツテタ代金ダケハ、丸キリ利益ニナツテシマフ、ソレハサウ云フ例ガ偶ミアツタノダラウト仰セラレルノデアリマセウガ、是ハ偶ミアルノデアリマス、是等ヲ以テ全ノ財政状態、經濟狀態ニ合ハナイト思フノ行カナイト、大藏大臣ノ努メテ財政ノ膨脹ヲ防イデ、出來ルダケ公債ノ發行額ヲ減ジテ行キタイト云フ氣持ニ合ハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ見地カラ政府ハ此ノ大キナ豫算ヲ運用スルノデアリマスカラ、政府ノ註文スル單價ニ付テモウ一段ト強化シテ、實際ニ研究調査セラレテ、之ヲ是正スル御方針ガアリマスカドウカ承リタイ○櫻内國務大臣 只今ノ御話ハ私共最モ傾聽致シテ居ツタノデアリマスガ、昨年デアリマシタカ、軍部ニ於テノ註文原價ノ單價ノ矛盾スルヤウナ考ヲ持ツ者ガナキニシモト矛盾スルヤウナ考ヲ持ツ者ガナキニシモアラズデ、アリマシテ、決シテサウデハナマシテ、必ず其ノ點ニ付キマシテハ注意ヲ致シタイト考ヘマス

○山本委員 明確ナル御答辯ヲ得マシテ私モ満足致シマスガ、是ハ我國ノ生產力擴充シテハ十分力ヲ致サナケレバナラヌ所デアリ致サナケレバナラヌト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ、全ク吾々ト致シマシスノデ、其ノ點ニ付テハ出來ルダケ細密ナル調査ヲ致シマシテ、若シ多少ニテモ餘地ナアル場合ニハ、豫算ノ執行ニ當リマシテ、之ニ對シテ價格ヲ改メテ行クト云フコトハトガアリハシナイカト云フコトモ考ヘラレマトハ出來マセヌケレドモ、往々サウ云フコトハ、嚴密ニ調査研究セラレテ、單價ノ引下ヲ實際ニ合フヤウニ、換言スレバ現在ノ日本ノ財政狀態、經濟狀態ニ合ハナイト思フノ行カナイト、大藏大臣ノ努メテ財政ノ膨脹ヲ防イデ、出來ルダケ公債ノ發行額ヲ減ジテ行キタイト云フ氣持ニ合ハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ見地カラ政府ハ此ノ大キナ豫算ヲ運用スルノデアリマスカラ、政府ノ註文スル單價ニ付テモウ一段ト強化シテ、實際ニ研究調査セラレテ、之ヲ是正スル御方針ガアリマスカドウカ承リタイ○櫻内國務大臣 只今ノ御話ハ私共最モ傾聽致シテ居ツタノデアリマスガ、昨年デアリマシタカ、軍部ニ於テノ註文原價ノ單價ノ矛盾スルヤウナ考ヲ持ツ者ガナキニシモト矛盾スルヤウナ考ヲ持ツ者ガナキニシモアラズデ、アリマシテ、決シテサウデハナマシテ、必ず其ノ點ニ付キマシテハ注意ヲ致シタイト考ヘマス

價ガ上ツテ來ルト云フコトデ、何時マデ經ツテモ廢止スル所ヲ知ラナイト云フコトガ、理論的ニ言ハレルダケデナシニ、實際左様ナ傾向ガ出來ツツアルノデアリマス、此ノドウカ大藏大臣ニ於カレマシテハ、只今ノ御決意ヲ事實ノ上ニ御示シ下サイマシテ、此ノ惡性「インフレ」傾向ヲ根絶シテ、本當ノ低物價政策ガ堅持セラルヤウニ希望ヲ申述べテ置ク次第アリマス。

次ニ御伺致シタイノハ、流通通貨ノ問題ニアリマスガ、今度ノ增税ハ政府ノ御見解ヲ依リマスレバ、消費稅以外ハ出來ルダケ物價ニ影響ノナイヤウニヤツテ行クノダトツテ物價ガ昂騰セザルヲ得ナインデアリマスガ、如何ニサウ云フ方針ノヤウデアリマスガ、如何ニサウ云フ方針デアリマシテモ、流通通貨ガ殖ニ依リマスレバ、消費稅以外ハ出來ルダケ物價ニ影響ノナイヤウニヤツテ行クノダトトアリマスガ、此ノ通貨ヲ現在ノ經濟狀態ニ當嵌メテ見テ、適當デアルカ否カト云フコトヲ考ヘテ見マスト、此ノ經濟界ノ發展ノ狀況竝ニ現在ノ如ク政府ガ巨額ノ國費ヲ使ツテ居リマス際ニ於テハ、勢ヒ斯ウ云フ現象ノ起ルト云フコトモ、已ムヲ得ナイコトデアルノデアリマシテ、政府トシマシテハ出來ルダケ通貨ヲ收縮シテ、今日ノ三十分何億ト云フヤウナ通貨ハ、ドウシテモ之ヲ縮小シナケレバナラヌト云フコトハ、深ク考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り經濟界ガ非常ナル發達ヲ致シマスノト、又或ハ現金ノ取引ガ盛ニ起ツテ參ツテ居ルヤウナ狀態ヲ顧ミマスト、今日ノヤウナ狀態デハ容易ニ通貨ガ收縮ヲ致サナイデハナイカト云フ風ナ考カラ、其半強制的ノ貯蓄ヲモヤツテ居ル點モアルノデアリマス、今後更ニ一層其ノ點ニ付キマシタシテ居ルヤウナ譯デアリマス、尤モ中ニハスルヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマス、山本委員御親切ナル御答辯ヲ得マシタガ、サウ云フ御氣持デ御進ミナサラヌト、昭和十五年ノ年末ニナリマスト、ヒヨツトスルト四十億圓ヲ超エルヤウナ通過ガ撒布セルコトニ付キマシテハ、有ユル角度カラ考究致シマシテ、此ノ收縮ヲ圖ツテ行キタリト存ジテ居リマスガ、只今ノ通貨ノ流通通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマス、ソニズ流通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマス、ソニズ流

在ノ日本ノ財政狀態、經濟狀態カラ見テ、此ノ程度ノ通貨ノ流通ハイムヲ得ナイノダト云フ御見込デアリマセウカ、ソレハ前内閣時代ニホ數億万圓、或ハ何程カハ如何ナル方法ヲテ行カナケレバナラナイノダ、ソレニハ今度ノ増税モ其ノ一ツノ役割ヲ務メルノダガ、ソレダケデハ勿論イケナインダ、他ノス。

○櫻内國務大臣 今日通貨ガ非常ニ膨脹致シテ居リマシテ、事變前カラ見マスト云フト、實ニ二倍乃至三倍ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ通貨ヲ現在ノ經濟狀態ニ當嵌メテ見テ、適當デアルカ否カト云フコトヲ考ヘテ見マスト、此ノ經濟界ノ發展ノ狀況竝ニ現在ノ如ク政府ガ巨額ノ國費ヲ使ツテ居リマス際ニ於テハ、勢ヒ斯ウ云フ現象ノ起ルト云フコトモ、已ムヲ得ナイコトデアルノデアリマシテ、政府トシマシテハ出來ルダケ通貨ヲ收縮シテ、今日ノ三十分何億ト云フヤウナ通貨ハ、ドウシテモ之ヲ縮小シナケレバナラヌト云フコトハ、深ク考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り經濟界ガ非常ナル發達ヲ致シマスノト、又或ハ現金ノ取引ガ盛ニ起ツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、尤モ中ニハスルヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマス、山本委員御親切ナル御答辯ヲ得マシタガ、サウ云フ御氣持デ御進ミナサラヌト、昭和十五年ノ年末ニナリマスト、ヒヨツトスルト四十億圓ヲ超エルヤウナ通過ガ撒布セルコトニ付キマシテハ、有ユル角度カラ考究致シマシテ、此ノ收縮ヲ圖ツテ行キタリト存ジテ居リマスガ、只今ノ通貨ノ流通通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマス、ソニズ流

通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマス、ソニズ流通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマスガ、併シ私ノ見ル所モ亦一理アルアリマシテ、如何ナル經濟學者ト雖モ其ノ原因ヲ一ツヤニツニ斷定スルコトハ困難デドモ、實際ノ問題ト致シマシテハ、適切ナル方法ヲ講ズルニアラザレバ、容易ニ通貨ノ縮小ヲ見難イヤウナ情勢デアリマスノデ、其ノ點ニ於テ特に通貨收縮ニ付テハ、別段ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌト考へマシテ、ノ努力ヲ拂ハナケレバナラヌト考へマシテ、

○櫻内國務大臣 今日通貨ガ非常ニ膨脹致シテ居リマシテ、事變前カラ見マスト云フト、實ニ二倍乃至三倍ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ通貨ヲ現在ノ經濟狀態ニ當嵌メテ見テ、適當デアルカ否カト云フコトヲ考ヘテ見マスト、此ノ經濟界ノ發展ノ狀況竝ニ現在ノ如ク政府ガ巨額ノ國費ヲ使ツテ居リマス際ニ於テハ、勢ヒ斯ウ云フ現象ノ起ルト云フコトモ、已ムヲ得ナイコトデアルノデアリマシテ、政府トシマシテハ出來ルダケ通貨ヲ收縮シテ、今日ノ三十分何億ト云フヤウナ通貨ハ、ドウシテモ之ヲ縮小シナケレバナラヌト云フコトハ、深ク考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り經濟界ガ非常ナル發達ヲ致シマスノト、又或ハ現金ノ取引ガ盛ニ起ツテ參ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、尤モ中ニハスルヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマス、山本委員御親切ナル御答辯ヲ得マシタガ、サウ云フ御氣持デ御進ミナサラヌト、昭和十五年ノ年末ニナリマスト、ヒヨツトスルト四十億圓ヲ超エルヤウナ通過ガ撒布セルコトニ付キマシテハ、有ユル角度カラ考究致シマシテ、此ノ收縮ヲ圖ツテ行キタリト存ジテ居リマスガ、只今ノ通貨ノ流通通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマス、ソニズ流

通貨ト云フコトガ非常ニ重大ナ關係ヲ持マハナケレバナラスト云フヤウナ闇取引ノ横行ヲ免レ得ナイノデアリマス、ソニズ流

二ツノ政府ノヤリ方ガ、國民ノ恩惑心ヲ助長シタ、ソレカラコツチ非常ナ勢デ通貨ガ膨脹シテ、昨年末ニ四十億ニ垂ントスル庵大ナ通貨ガ出テ來タ、尤モソレダケガ原因ダトハ私ハ申シマセヌ、澤山外ニ原因ガアリマセウケレドモ、ソレガ精神的ニ國民ノ思惑心ヲ助長シタト云フコトハ、拭フベカラザル汚點ダト思フノデアリマス、政府當局ハ煙草ノ值上ハココ數年ヤラスト言明サレテ居ルノデアリマスガ、ドウカ政府當局ノ議會ニ於ケル言明ガ、數箇月、一年足ラズデ裏切ラレナイヤウニ、而シテ值上ヲスルノハ宜シイ、場合ニ依ツテハ適正物價ヲ決メルノデ值ノ上ル物モアリマセウガ、思惑ヲ助長スルコトノナイヤウニ、國民ガ犠牲ヲ忍ンデ此ノ戰時經濟、統制經濟ニ協力シヤウト云フ氣持ガ出來掛けツテハ打壊ハサレル、思惑心ヲ助長スルヤウナ政策ハ、政府ニ於テ御執リニナラヌヤウニ、固ク此ノ點ヲ國民ニ知ラシメル必要ガアルト思フノデスガ、殊ニ是ハ通貨問題ニ非常ナ影響ガアル、是ガ物價ニ直チニ影響シ、而シテ豫算ノ遂行上、非常ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、大藏當局ニ於テ確固タル御心構ガ必要ダト思フガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 御話ノ如ク米ノ値段ハ上ゲナイ、斯ウ云フコトヲ私丁度昨年ノ在職中ニ申シテ居リマシタ、米ハ御承知ノ通リ毎年一回、米穀統制委員會ノ議ヲ經テ、改訂スルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ八月要スルニ次ノ年度ノ初マデハ値上ヲシナイト云フ風ニ申シタノデアリマス、即チ八月後私ハ一兩年ノ間、煙草ノ値上ハ必要ガナイトハ私ハ申シマス際ニ、サウ云フコトヲ致

シタノデアリマス、其ノ後私ノ次ノ農林大臣モ、齊シク之ヲ聲明致シタノデアリマス、其次ノ三代目ノ農林大臣ノ時ニ當リマシテ、是ガ又突如トシテ改訂期ヲ前ニシテガル汚點ダト思フコトガ適當デアルカ否カト云フコトハ申シマセヌガ、苟モ政府ガ上げナイト言ツテ居リナガラ、上げルト云フガ如キコトハ、餘程已ムヲ得ザル理由ガナイ限りハ爲スペカラザルコトニアリマシテ、其ノ場合ニハソレダケノ理由ヲ明ニシテ、國民ノ諒解ヲ得ナケレバナラヌト思フノデアリマス、而シテ其ノ間ニ於ケル取扱ニ付キマシテハ、最モ公平ニサウシテ國民ガ成程是ハ政府ノヤツタコトガ尤モダト云フ風ナヤリ方ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、又煙草ノ値上ノ如キニ付キマシテモ、之ノ取扱ニ付キマシテハ、十分注意致サナケレバナラヌコトデアリマスガ、煙草ノ如キハ、値上スル場合ニ於キマシテ、値上スルヤウナ氣分ガ少シデモ見エマスト、ソレハ要スルニ買溜メヲ獎勵スルヤウナコトニナリマスノデ、是ハ實行スル時ニハ、餘程注意致サナケレバナリマセヌガ、昨年煙草ノ値上ヲ實行致シテモ見エマスト、ソレハ要スルニ買溜メヲ獎勵スルヤウナコトニナリマスノデ、是ハ實行スル時ニハ、餘程注意致サナケレバナリマセヌガ、昨年煙草ノ値上ヲ實行致シマシタノハ、稅制改革ニ連レテ、是ト均衡ヲ保ツ意味ニ於テ値上ヲシタノデアリマス、併シ斯ウ云フ際ニ於テ政府トシテハ、田畠ヲ買入レタヤウナ場合ニハ、其ノ借金利子ハ勿論必要經費トシテ控除セラレルコトハ、何遍モ伺ツテ居リマスカラ、是ハ問シマシタノハ、稅制改革ニ連レテ、是ト均衡ヲ保ツ意味ニ於テ値上ヲシタノデアリマス、併シ斯ウ云フ際ニ於テ政府トシテハ、國民ニ向ツテ自分ノ信ズル所ヲ明ニ致シテ、斯ルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ八月要スルニ次ノ年度ノ初マデハ値上ヲシナイト云フ風ナ建前ヲ明ニスルコトダケハ、最モ必要デアルト思フノデアリマシテ、今後私ハ一兩年ノ間、煙草ノ値上ハ必要ガナイ

シタノデアリマス、其ノ後私ノ次ノ農林大臣モ、齊シク之ヲ聲明致シタノデアリマス、其次ノ三代目ノ農林大臣ノ時ニ當リマシテ、是ガ又突如トシテ改訂期ヲ前ニシテガル汚點ダト思フコトガ適當デアルカ否カト云フコトハ申シマセヌガ、苟モ政府ガ上げナイト言ツテ居リナガラ、上げルト云フガ如キコトハ、餘程已ムヲ得ザル理由ガナイ限りハ爲スペカラザルコトニアリマシテ、其ノ場合ニハソレダケノ理由ヲ明ニシテ、國民ノ諒解ヲ得ナケレバナラヌト思フノデアリマス、而シテ其ノ間ニ於ケル取扱ニ付キマシテハ、最モ公平ニサウシテ國民ガ成程是ハ政府ノヤツタコトガ尤モダト云フ風ナヤリ方ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、又煙草ノ値上ノ如キニ付キマシテモ、之ノ取扱ニ付キマシテハ、十分注意致サナケレバナラヌコトデアリマスガ、煙草ノ如キハ、値上スル場合ニ於キマシテ、値上スルヤウナ氣分ガ少シデモ見エマスト、ソレハ要スルニ買溜メヲ獎勵スルヤウナコトニナリマスノデ、是ハ實行スル時ニハ、餘程注意致サナケレバナリマセヌガ、昨年煙草ノ値上ヲ實行致シテモ見エマスト、ソレハ要スルニ買溜メヲ獎勵スルヤウナコトニナリマスノデ、是ハ實行スル時ニハ、餘程注意致サナケレバナリマセヌガ、昨年煙草ノ値上ヲ實行致シマシタノハ、稅制改革ニ連レテ、是ト均衡ヲ保ツ意味ニ於テ値上ヲシタノデアリマス、併シ斯ウ云フ際ニ於テ政府トシテハ、田畠ヲ買入レタヤウナ場合ニハ、其ノ借金利子ハ勿論必要經費トシテ控除セラレルコトハ、何遍モ伺ツテ居リマスカラ、是ハ問シマシタノハ、稅制改革ニ連レテ、是ト均衡ヲ保ツ意味ニ於テ値上ヲシタノデアリマス、併シ斯ウ云フ際ニ於テ政府トシテハ、國民ニ向ツテ自分ノ信ズル所ヲ明ニ致シテ、斯ルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ八月要スルニ次ノ年度ノ初マデハ値上ヲシナイト云フ風ナ建前ヲ明ニスルコトダケハ、最モ必要デアルト思フノデアリマシテ、今後私ハ一兩年ノ間、煙草ノ値上ハ必要ガナイト存ズルト云フ旨ヲ申シテ居リマスガ、遠キ將來ニ互ツテ値上ハ全然シナイト云フヤウナコトハ、是ハ申スコトハ出來ナイコトニアリマスケレドモ、左様ナル場合ニ對シテ、是ガ又突如トシテ改訂期ヲ前ニシテガル汚點ダト思フノデアリマス、政府當局ノ議會ニ於ケル言明ガ、數箇月、一年足ラズデ裏切ラレナイヤウニ、而シテ値上ヲスルノハ宜シイ、場合ニ依ツテハ適正物價ヲ決メルノデ值ノ上ル物モアリマセウガ、思惑ヲ助長スルコトノナイヤウニ、國民ガ犠牲ヲ忍ンデ此ノ戰時經濟、統制經濟ニ協力シヤウト云フ氣持ガ出來掛けツテハ打壊ハサレル、思惑心ヲ助長スルヤウナ政策ハ、政府ニ於テ御執リニナラヌヤウニ、固ク此ノ點ヲ國民ニ知ラシメル必要ガアルト思フノデスガ、殊ニ是ハ通貨問題ニ非常ナ影響ガアル、是ガ物價ニ直チニ影響シ、而シテ豫算ノ遂行上、非常ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、大藏當局ニ於テ確固タル御心構ガ必要ダト思フガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 御話ノ如ク米ノ値段ハ上ゲナイ、斯ウ云フコトヲ私丁度昨年ノ在職中ニ申シテ居リマシタ、米ハ御承知ノ通リ毎年一回、米穀統制委員會ノ議ヲ經テ、改訂スルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チ八月要スルニ次ノ年度ノ初マデハ値上ヲシナイト云フ風ナ建前ヲ明ニスルコトダケハ、最モ必要デアルト思フノデアリマシテ、今後私ハ一兩年ノ間、煙草ノ値上ハ必要ガナイト存ズルト云フ旨ヲ申シテ居リマスガ、遠キ將來ニ互ツテ値上ハ全然シナイト云フヤウナコトハ、是ハ申スコトハ出來ナイコトニアリマスケレドモ、左様ナル場合ニ對シテ、是ガ又突如トシテ改訂期ヲ前ニシテガル汚點ダト思フノデアリマス、政府當局ノ議會ニ於ケル言明ガ、數箇月、一年足ラズデ裏切ラレナイヤウニ、而シテ値上ヲスルノハ宜シイ、場合ニ依ツテハ適正物價ヲ決メルノデ值ノ上ル物モアリマセウガ、思惑ヲ助長スルコトノナイヤウニ、國民ガ犠牲ヲ忍ンデ此ノ戰時經濟、統制經濟ニ協力シヤウト云フ氣持ガ出來掛けツテハ打壊ハサレル、思惑心ヲ助長スルヤウナ政策ハ、政府ニ於テ御執リニナラヌヤウニ、固ク此ノ點ヲ國民ニ知ラシメル必要ガアルト思フノデスガ、殊ニ是ハ通貨問題ニ非常ナ影響ガアル、是ガ物價ニ直チニ影響シ、而シテ豫算ノ遂行上、非常ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、大藏當局ニ於テ確固タル御心構ガ必要ダト思フガ、之ニ對スル御所見ヲ承リタイ

納稅者ガ稅務官吏ニ向ツテモ、斯ウノス、云フ理由デアルト云フ理由ノ下ニ説明ガ  
ス云フ理由デアルト云フ理由ノ下ニ説明ガ  
出來ルダラウト恩ヒマス、私ハサウ云フ懸  
念ヲ持チマスノデ、ドウカ此ノ問題ニ付テ  
ハ、既ニ抽象的ナ御説明ハ何遍モ伺ツテ居  
リマスカラ、ソレハ要リマスニ、唯斯ウ云  
フ常識ナノダ、斯ウ云フ標準ナノダト云フ  
コトヲ、大體事務當局ニ於テ御決メガアリ  
マスナラバ、或ハ御心構ヘガアリマスナラ  
バ、ソレヲ此ノ議會ヲ通ジテ國民ニ知ラセ  
タイト思フノデアリマス、如何デアリマセ  
ウカ

○大矢政府委員 負債利子ノ控除デスガ、所得ヲ得ルニ必要ナル負債ノ利子ヲ判定ス  
ルト云フコトハ、仰セノ通り中々困難ナ問  
題ダト思フノデアリマス、自作農ニ付キマ  
シテ特別自作農創設資金ト致シテ、公共團  
體等ノ方カラ借入レルモノニ付テハ、是ハ  
比較的明瞭デ差引カレマスケレドモ、其ノ  
他ニ付キマシテハ一般ノ消費生活ノ爲ノ借  
金ト、或ハ自作農ノ土地買入ノ爲ノ借金、  
肥料買入ノ爲ノ借金ト云フヤウナナモノノ  
區別ハ、實際問題トシテハ相當困難ガアル  
ト存ズルノデアリマス、新シク土地ヲ取得  
シタ場合ニ、從來ノ借金ヨリモ、尙ホソレ  
ダケ餘分ニ借金ガ殖エタト云フヤウナ場合  
ニハ、比較的認定ハ出來易イト思フノデア  
リマスルガ、其ノ他ノ事由ニ依ル借金ト交  
錯シテ來タ場合ニ、ドレ程ガ其ノ爲ニ必要  
ナル借入金ノ利子カト云フコトヲ見ルニハ、  
相當ノ困難ガアリマスガ、之ニ對シマシテ、  
示スコトバ、中々困難ダト思フノデアリマ  
ス、現在ニ於キマシテモ、自作農所得ハ相  
當課稅範圍ニ取入レラレテアルノデアリマ  
ス

○山本委員 實際問題トシテハソレ程困難  
ナ問題ガ、ソチラニモコチラニモ出テ來ル  
スガ、是ハ純粹ノ自作農以外ニ小作ニ付シ  
タ土地モ相當持ツテ居リナガラ、一方ニ於  
テ自作ラスルト云フノガアル、相當財產所  
得ノ種類別ヲ見マシテモ、自作農ノ所得ガ  
アルノデアリマスガ、是ハドウ云フ風ニシ  
テ調べテ居ルカト申シマスト、個々ノ自作  
農ニ付キマシテ、實際肥料代トシテドレダ  
ケ使ツテ居ルカ、雇人ヲドレダケ使ツテ居  
ルカト云フノヲ調査スルノハ、實際問題ト  
シテ非常ニ困難デゴザイマスカラ、大體各  
町村ニ付テ通常一反歩當リ、昨年ハ收穫高  
ガドレ程アツテ、普通標準トナル經費ガド  
レ程アツテ、差引所得ガドレ程アルカト云  
フコトヲ調査致シマシテ、ソレヲ其ノ町村  
内ニ於テ田畠ヲ所有シテ居ル自作農ニ付テ  
遍ク適用シテ居ルト云フノガ實際ノ狀況デ  
アリマス、個々ノ人ニ付キマシテ特ニ借入  
金ノ多イヤウナ場合ニハ、ソレヲ能ク調査  
致シマシテ、特別ノ事由ニ依ツテ、自作農  
ヲ營マンガ爲ニ、特ニ借入金ノ利息ヲ餘計  
袋ガ六足ヅツニ同配給セラレタダケデアリ  
八軒乃至二十四五軒ノ所ヘ、一冬ニ地下足  
八軒乃至二十四五軒ノ所ヘ、一冬ニ地下足  
袋ガ六足ヅツニ同配給セラレタダケデアリ  
マス、サウスルトソレ等ノ物ヲ皆籠引キデ  
分ケマシテ、其ノ籠ニ當ラナイ者ハ遠ク東  
京マデ出テ來テ、山ヘ獵ニ行ク獵用ノ地下  
足袋ヲ、勿論闇相場デソレ買ツテ戻ツテ  
木綿ヲ穿イテ居る者ガナイ、是ガ本當ノ實  
情デス、私ハ商工當局ガ見ニマシタラ、尙  
ホ此ノ點ニ付テ十分ニ御尋シタイ思ヒマシ  
タガ、ソレガ悲シイ哉、サウ云フコトデ満  
足シテ居ル間ハ宜シイ、又寢ル爲メノ蒲團  
ハ「ス・フ」モ間ニ合ヒマスカラ、是ハ農民  
諸君ハ文句ヲ言ハナイ、ケレドモ、田圃ニ  
入ルニハ「ス・フ」デハ入レマセス、何故「ス・  
フ」デ入ラナイカト云フト「ス・フ」ノ股引デ  
入りマスト、是ハ毛細管現象デ其ノ「ス・フ」  
ノ續イテ居ル所マデ水ガ濕ツテ來マシテ、

トハ豫想シマセヌガ、机ノ上デ御議論申上  
ニ、其ノ程度以上ニハ御答ハ困難ダト私ハ  
存ジテ居リマス、是々ノ標準ニ基イテ、是  
ダケノモノハ引クノダト云フコトヲ、此處  
デ御説明願フコトハ無理カモ知レマセス  
ガ、只今ノ答辯ニ於テ大體ノ標準ガハツキ  
リシマシタ、ソコデ私ガ特ニ大藏當局ニ御  
願申上ゲタインハ、其ノ必要經費ヲ計算サ  
レル場合ニ、現在ノ農家ガ生產ニ必要ナル  
物資ニ、ドノ位不自由シテ居テ、ソレヲド  
ノ位闇相場デ高イモノヲ買ツテ居ルカト云  
フコトヲ、考慮ニ入レテ戴キタイト思フノ  
デアリマス、私共ノ茨城縣デハ大凡ソ十七  
八軒乃至二十四五軒ノ所ヘ、一冬ニ地下足  
袋ガ六足ヅツニ同配給セラレタダケデアリ  
マス、サウスルトソレ等ノ物ヲ皆籠引キデ  
分ケマシテ、其ノ籠ニ當ラナイ者ハ遠ク東  
京マデ出テ來テ、山ヘ獵ニ行ク獵用ノ地下  
足袋ヲ、勿論闇相場デソレ買ツテ戻ツテ  
木綿ヲ穿イテ居る者ガナイ、是ガ本當ノ實  
情デス、私ハ商工當局ガ見ニマシタラ、尙  
ホ此ノ點ニ付テ十分ニ御尋シタイ思ヒマシ  
タガ、ソレガ悲シイ哉、サウ云フコトデ満  
足シテ居ル間ハ宜シイ、又寢ル爲メノ蒲團  
ハ「ス・フ」モ間ニ合ヒマスカラ、是ハ農民  
諸君ハ文句ヲ言ハナイ、ケレドモ、田圃ニ  
入ルニハ「ス・フ」デハ入レマセス、何故「ス・  
フ」デ入ラナイカト云フト「ス・フ」ノ股引デ  
入りマスト、是ハ毛細管現象デ其ノ「ス・フ」  
ノ續イテ居ル所マデ水ガ濕ツテ來マシテ、

○山本委員 實際問題トシテハソレ程困難  
ナ問題ガ、ソチラニモコチラニモ出テ來ル  
スガ、是ハ純粹ノ自作農以外ニ小作ニ付シ  
タ土地モ相當持ツテ居リナガラ、一方ニ於  
テ自作ラスルト云フノガアル、相當財產所  
得ノ種類別ヲ見マシテモ、自作農ノ所得ガ  
アルノデアリマスガ、是ハドウ云フ風ニシ  
テ調べテ居ルカト申シマスト、個々ノ自作  
農ニ付キマシテ、實際肥料代トシテドレダ  
ケ使ツテ居ルカ、雇人ヲドレダケ使ツテ居  
ルカト云フノヲ調査スルノハ、實際問題ト  
シテ非常ニ困難デゴザイマスカラ、大體各  
町村ニ付テ通常一反歩當リ、昨年ハ收穫高  
ガドレ程アツテ、普通標準トナル經費ガド  
レ程アツテ、差引所得ガドレ程アルカト云  
フコトヲ調査致シマシテ、ソレヲ其ノ町村  
内ニ於テ田畠ヲ所有シテ居ル自作農ニ付テ  
遍ク適用シテ居ルト云フノガ實際ノ狀況デ  
アリマス、個々ノ人ニ付キマシテ特ニ借入  
金ノ多イヤウナ場合ニハ、ソレヲ能ク調査  
致シマシテ、特別ノ事由ニ依ツテ、自作農  
ヲ營マンガ爲ニ、特ニ借入金ノ利息ヲ餘計  
袋ガ六足ヅツニ同配給セラレタダケデアリ  
マス、サウスルトソレ等ノ物ヲ皆籠引キデ  
分ケマシテ、其ノ籠ニ當ラナイ者ハ遠ク東  
京マデ出テ來テ、山ヘ獵ニ行ク獵用ノ地下  
足袋ヲ、勿論闇相場デソレ買ツテ戻ツテ  
木綿ヲ穿イテ居る者ガナイ、是ガ本當ノ實  
情デス、私ハ商工當局ガ見ニマシタラ、尙  
ホ此ノ點ニ付テ十分ニ御尋シタイ思ヒマシ  
タガ、ソレガ悲シイ哉、サウ云フコトデ満  
足シテ居ル間ハ宜シイ、又寢ル爲メノ蒲團  
ハ「ス・フ」モ間ニ合ヒマスカラ、是ハ農民  
諸君ハ文句ヲ言ハナイ、ケレドモ、田圃ニ  
入ルニハ「ス・フ」デハ入レマセス、何故「ス・  
フ」デ入ラナイカト云フト「ス・フ」ノ股引デ  
入りマスト、是ハ毛細管現象デ其ノ「ス・フ」  
ノ續イテ居ル所マデ水ガ濕ツテ來マシテ、

トハ豫想シマセヌガ、机ノ上デ御議論申上  
ニ、其ノ程度以上ニハ御答ハ困難ダト私ハ  
存ジテ居リマス、是々ノ標準ニ基イテ、是  
ダケノモノハ引クノダト云フコトヲ、此處  
デ御説明願フコトハ無理カモ知レマセス  
ガ、只今ノ答辯ニ於テ大體ノ標準ガハツキ  
リシマシタ、ソコデ私ガ特ニ大藏當局ニ御  
願申上ゲタインハ、其ノ必要經費ヲ計算サ  
レル場合ニ、現在ノ農家ガ生產ニ必要ナル  
物資ニ、ドノ位不自由シテ居テ、ソレヲド  
ノ位闇相場デ高イモノヲ買ツテ居ルカト云  
フコトヲ、考慮ニ入レテ戴キタイト思フノ  
デアリマス、私共ノ茨城縣デハ大凡ソ十七  
八軒乃至二十四五軒ノ所ヘ、一冬ニ地下足  
袋ガ六足ヅツニ同配給セラレタダケデアリ  
マス、サウスルトソレ等ノ物ヲ皆籠引キデ  
分ケマシテ、其ノ籠ニ當ラナイ者ハ遠ク東  
京マデ出テ來テ、山ヘ獵ニ行ク獵用ノ地下  
足袋ヲ、勿論闇相場デソレ買ツテ戻ツテ  
木綿ヲ穿イテ居る者ガナイ、是ガ本當ノ實  
情デス、私ハ商工當局ガ見ニマシタラ、尙  
ホ此ノ點ニ付テ十分ニ御尋シタイ思ヒマシ  
タガ、ソレガ悲シイ哉、サウ云フコトデ満  
足シテ居ル間ハ宜シイ、又寢ル爲メノ蒲團  
ハ「ス・フ」モ間ニ合ヒマスカラ、是ハ農民  
諸君ハ文句ヲ言ハナイ、ケレドモ、田圃ニ  
入ルニハ「ス・フ」デハ入レマセス、何故「ス・  
フ」デ入ラナイカト云フト「ス・フ」ノ股引デ  
入りマスト、是ハ毛細管現象デ其ノ「ス・フ」  
ノ續イテ居ル所マデ水ガ濕ツテ來マシテ、



テ、暴落スルヤウナ政策ヲ斷ジテ執ラセナ  
イデ、外貨獲得ノ意味ニ於テ、斯ウ云フ方  
針ヲ進マケレバイケナイドト云フ大方  
一つ確立セラレテ、之ヲ是正スルコトガ急  
務中ノ急務ダト私ハ考ヘテ居ル、此ノ切符  
當局トシテハ、外貨獲得ガ日本ノ財政運用  
ノ上ニ於テ、重要ナル役割ヲスルノデアリ  
マシテ、其ノ重要ナル役割ノ大部分ヲ占メ  
ル生絲ガ、サウ云フ始末ナノデアリマスカ  
ラ、此ノ點ヲ御考下サイマシテ、斷乎タル  
決意ヲ以テ商工當局ト御考究ヲ願ヒタイ、  
之ニ對スル大藏當局ノ心構ヘダケラ拜聴シ  
タイト存ジマス

○櫻内國務大臣 今日外貨獲得ノ急務ナル  
コトハ洵ニ仰セノ通リデアリマス、其ノ點  
ニ付キマシテハ、生絲ノ輸出ニ付テ十分ナ  
ル處置ヲ講ジマシテ、出來得ル限り多クノ  
數量ヲ輸出致スト同時ニ、此ノ價格ヲヤハ  
リ相當高イ程度ニスルコトガ、是ハ實際收  
支ノ關係上カラ言ヒマシテモ、輸入力ヲ増  
加スル上カラ言ヒマシテモ、最モ大切ナコト  
デアルノデアリマス、其ノ點ニ付テ切符制度ヲ國  
内ノ生絲ニ對シテ行ツタ事柄ガ、先方ニ非常  
ナル誤解ト申シマスカ、何ト申シマスカ、  
日本ニ物資ガ足ラナクナツタ、即チ日本ニ  
資金ガ足ラナクナツタノデ、亞米利加ノ金  
ヲ取ル爲ニ輸出向ノ生絲ヲ確保スルト云フ  
意味カラ、日本國內ノ消費ヲ統制シタ、斯  
ウ見ルト仰セデアリマスガ、私ハサウ云フ  
點モ多少アラウト思ヒマス、自由經濟ノ國  
デアリマスカラ日本ガ統制ヲ行ツタ、行ツ  
タノハ即チ物資ガ足ラナクナツタノダト斯

現在ノ立場カラ申シマスト、其ノ統制ノ強化ニ  
依ツテ、サウシテ物資ノ統制ヲ執ラウト、斯ウ  
云フ感ジラ起サレルデアリマセウガ、日本  
ノ風ナ建前モ一面ニハ行ハレツツアルノ  
デアリマシテ、其ノ制定ニ付キマシテハ、今私  
ハ此處デ申上げ兼ネマスガ、併シ御話ノ通り  
現在七八十萬俵出來マス生絲ノ中デ少ク  
トモ四十万乃至五十万ノ間ノ數量ダケハ、  
輸出向ニ確保スルコトハ最モ必要デアリマ  
シテ、其ノ確保ト云フコトデ恐ラク切符制  
度モ行ツタノデセウガ、之ヲ行ハズシテ他  
ニ方法ガアルカ、即チ課税ナドノ操作ニ依  
ツテ、之ヲ處理シテ行ク途ガアルノデハナ  
イカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點モ私  
丁度農林大臣ノ在職中ニ於テ、深ク考究シ  
タ所デアリマスガ、或ハ二重價格ヲ設ケテ  
ヤツタラドウカ、國內ノ方ハ即チ消費統制  
ヲシテ、或ル程度ノ値段ニシテ置イテヤツタ  
ラドウカト云フコトモ考ヘラレマシタシ、  
色々ナ點ガ考究サレマシタガ、何分ニモ今  
ノ御話ノ通リ綿絲布ガ足ラナクナツタ、サ  
ウシテ「ス・フ」ハ保チガ惡イ、「ス・フ」ヲ買ツ  
テ之ヲ使用スルヨリモ、寧ロ絹布ヲ買ツテ  
使用シタ方ガ事實ニ於テハ値段ガ高クテモ  
經濟的ニナルノダト云フヤウナ感ジヲ一般  
ニ與ヘマシテ、サウシテ絹ノ方ノ需要ガ非  
常ニ激増ヲシタト云フコトハ事實デアリマ  
スガ、其ノ暴騰シタ原因ハ種々アリマス  
ベ、向フガ諒解スルデアリマシテ、此ノ  
一年間ニ非常ナ暴騰ヲ致シテ居ルノデアリ  
マスガ、其ノ暴騰シタ原因ハ種々アリマス  
ケレドモ、只今御話ノ如ク爲替相場ノ關係  
上ツテ來タコト思フノデアリマス、隨テ  
日本ノ生絲政策ニ付キマシテハ、一定ノ方  
針ヲ立テ、亞米利加人ヲ初メ之ヲ需要スル  
所ノ外國ニ於テ、成程日本ハ物資ニ困ツテ  
三十五万俵内外ヲ國內ニ於テ使用シタモノ  
ガ、今ハ九十万俵モ國內ニ於テ使フト云  
フ状況ニナツテ參ツタコトト考ヘルノデア  
リマス、ソレデ今後之ヲドウ云フ風ナキリ  
ガ、今ハ九十万俵モ國內ニ於テ使フト云  
コトハ、恐ラク當局ノ方ニ於テモ考究シテ  
居ルデアリマセウ、私在職ノ當時ハ此ノ問

題ニ付キマシテハ、實ハ世間ニ發表サレナ  
イヤウナ方法デ各製造業者ニ割當テマシテ、  
輸出數量ダケハ其ノ業者ニ於テ必ズ出スヤ  
ウニ協定ヲ致シタコトモアリマス、又當業  
者ノ方ニ於キマシテモ、輸出生絲ノ確保ト  
云フコトニ付キマシテハ、可ナリ協力ラシ  
テ吳レタノデアリマス、今日ハドウ云フ風  
ナヤリ方ヲ致シテ居リマスカ、ハツキリ今  
存ジマセヌノデ御答ヲ致シ兼ネマスガ、御  
話ノ如ク輸出數量ヲ確保スルト同時ニ、外  
國ヲシテ日本ガ生絲ニ對シテ斯様ナ政策ヲ  
執ツテ居ルノハ、決シテ非常ニ困ツテ居ル  
ノデハナイ、唯生絲自體ニ於テ日本ノ需要  
ガ增加シタ結果、輸出ノ數量ダケハ確保シ  
テ行クノデアル、

(委員長退席、小笠原委員長代理著席)

此ノ意味ニ於テ向フニ知レルヤウニスレ  
バ、向フガ諒解スルデアリマシテ、此ノ  
一年間ニ非常ナ暴騰ヲ致シテ居ルノデアリ  
マスガ、其ノ暴騰シタ原因ハ種々アリマス  
ケレドモ、只今御話ノ如ク爲替相場ノ關係  
上ツテ來タコト思フノデアリマス、隨テ  
日本ノ生絲政策ニ付キマシテハ、一定ノ方  
針ヲ立テ、亞米利加人ヲ初メ之ヲ需要スル  
文セヌデモ宜イ、キツト安クナル、斯ウ云  
フ心構ヲシテ居ル、是ガ暴落ノ原因デアリ  
マス、今大藏大臣ノ農林大臣時代ニ於ケル  
御心構ヲ御聽キシマシタガ、其ノ通リデア  
リマシテ、確ニ四十万俵乃至五十万俵ノ輸  
出ヲ確保シナケレバナラナイケレドモ、假  
ニ五万俵殖エマシテモ、生絲ノ價格ガ暴落  
シマスレバ、五万俵ノ生絲ヲ餘計ニ輸出シ  
ナガラ、却ツテソレガ外貨ノ上デ四十五万  
俵輸出シタヨリモ、二千万圓モ少クナルト  
リマス、唯生絲ノ政策ニ於キマシテハ御承

シマシテ、餘計持ツテ行ツテ、少イ外貨ヲ持  
ツテ來ルト云フヤウナ、サウ云フ馬鹿ナ政  
策ヲ執ルコトハ、是ハドウ考ヘテモ爲政者  
ノ責任デアルト思フ、此ノ意味ニ於テ商工  
當局ガモウ少シ「スムース」ニ——自由主義  
ノ經濟機構ノ亞米利加ニ、日本ハ生絲ガ在  
リ餘ツテ、餘計亞米利加ニ持ツテ來ルノダ  
ト云フヤウナ感ヲ與ヘレバ、イツデモ註文  
スレバ買ヘルノダ、終ヒニハ「ダンピング」  
デヤリ切レナミテ、亞米利加ニドンク賣  
ツテ來ルノダト云フヤウナ氣持ヲ抱カセル  
政策ガイケナイノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ  
居ルノデアリマシテ、ドウカ大藏大臣ハ其  
ノ心構デ商工、農林兩當局ニ、外貨獲得ノ見  
地カラ御折衝アランコトヲ熱望スルノデア  
リマス、私ノ約束ノ四時ニナリマシタガ、我ガ  
後二三時間御尋シタインデアリマスガ、我ガ  
シウゴザイマスガ、御答ヲ願ヒタイノデア  
リマス、ソレハ餘リ大キナ聲デ申上ゲルベ  
キコトデハナイノデスガ、理論的ニハドウ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

用ヲ掛ケテ飲食ヲスルヤウナ者ニ對シマシ  
テハ、僅カ二三圓ノ祖先ノ法事ト同ジ位ノ  
率デ稅金ヲ課ケルト云フコトハ如何デアル  
カ、私ハ茲ニ本當ニ不公平ガアルト思フノ  
デス、モウ一つ不公平ハ「カフェー」「バー」  
ヲ藝妓ト同ジヤウニ見テ居ルガ、藝妓ト云  
フモノハ一時間侍レバ、ソレニ對シテ線香  
ガ幾ラ、花代ガ幾ラトチヤント付ク、ソレ  
ダカラ是ハ何人モ當識デ考ヘテ見テ、一時  
間料理屋ニ行ツテ藝妓ガ來テ、三圓以下デ  
上ガルコトハ絶對ニアリマセヌ、デスカラ、  
是ハ免稅點ヲ設ケナクテモ設ケテモ同ジコ  
トデス、所ガ女給ノ方ハ、所謂「カフェー」  
「バー」ニ侍ル女ト云フモノハ、是ハ一時間  
幾ラノ名ニ囚ハレナイ、デスカラ多クハ平  
均スルナラバ、恐ラク一圓カ或ハ一圓四五  
十錢ノ程度ニ止ツテシマフモノダト思ヒマ  
ス、サウ云フモノニ免稅點ヲ設ケナイデ、  
サウシテ一夜ニ數十圓、絕對三三圓以下ニナ  
リツコナイヤウナ藝妓ノ如キモノヲ侍ベラ  
セルト、同様ノ課稅方針ヲ執ルト云フ、此ノ  
二ツガ私ハ遊興飲食稅ニ對シテ、矛盾デア  
リ不公平デアルト思フ、實際的ニモサウダシ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

サウシテ稅金ヲ取ツテ、本當ニ最低限度ノ  
遊興ト云フト語弊ガアルデセウガ、現在ノ  
「カフェー」「バー」ナドハ遊興デハナイ、一  
種ノ興奮場所ト云ヒマスカ、氣持ヲ興奮サ  
カ、私ハ茲ニ本當ニ不公平ガアルト思フノ  
デス、モウ一つ不公平ハ「カフェー」「バー」  
ヲ藝妓ト同ジヤウニ見テ居ルガ、藝妓ト云  
フモノハ一時間侍レバ、ソレニ對シテ線香  
ガ幾ラ、花代ガ幾ラトチヤント付ク、ソレ  
ダカラ是ハ何人モ當識デ考ヘテ見テ、一時  
間料理屋ニ行ツテ藝妓ガ來テ、三圓以下デ  
上ガルコトハ絶對ニアリマセヌ、デスカラ、  
是ハ免稅點ヲ設ケナクテモ設ケテモ同ジコ  
トデス、所ガ女給ノ方ハ、所謂「カフェー」  
「バー」ニ侍ル女ト云フモノハ、是ハ一時間  
幾ラノ名ニ囚ハレナイ、デスカラ多クハ平  
均スルナラバ、恐ラク一圓カ或ハ一圓四五  
十錢ノ程度ニ止ツテシマフモノダト思ヒマ  
ス、サウ云フモノニ免稅點ヲ設ケナイデ、  
サウシテ一夜ニ數十圓、絕對三三圓以下ニナ  
リツコナイヤウナ藝妓ノ如キモノヲ侍ベラ  
セルト、同様ノ課稅方針ヲ執ルト云フ、此ノ  
二ツガ私ハ遊興飲食稅ニ對シテ、矛盾デア  
リ不公平デアルト思フ、實際的ニモサウダシ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

サウシテ稅金ヲ取ツテ、本當ニ最低限度ノ  
遊興ト云フト語弊ガアルデセウガ、現在ノ  
「カフェー」「バー」ナドハ遊興デハナイ、一  
種ノ興奮場所ト云ヒマスカ、氣持ヲ興奮サ  
カ、私ハ茲ニ本當ニ不公平ガアルト思フノ  
デス、モウ一つ不公平ハ「カフェー」「バー」  
ヲ藝妓ト同ジヤウニ見テ居ルガ、藝妓ト云  
フモノハ一時間侍レバ、ソレニ對シテ線香  
ガ幾ラ、花代ガ幾ラトチヤント付ク、ソレ  
ダカラ是ハ何人モ當識デ考ヘテ見テ、一時  
間料理屋ニ行ツテ藝妓ガ來テ、三圓以下デ  
上ガルコトハ絶對ニアリマセヌ、デスカラ、  
是ハ免稅點ヲ設ケナクテモ設ケテモ同ジコ  
トデス、所ガ女給ノ方ハ、所謂「カフェー」  
「バー」ニ侍ル女ト云フモノハ、是ハ一時間  
幾ラノ名ニ囚ハレナイ、デスカラ多クハ平  
均スルナラバ、恐ラク一圓カ或ハ一圓四五  
十錢ノ程度ニ止ツテシマフモノダト思ヒマ  
ス、サウ云フモノニ免稅點ヲ設ケナイデ、  
サウシテ一夜ニ數十圓、絕對三三圓以下ニナ  
リツコナイヤウナ藝妓ノ如キモノヲ侍ベラ  
セルト、同様ノ課稅方針ヲ執ルト云フ、此ノ  
二ツガ私ハ遊興飲食稅ニ對シテ、矛盾デア  
リ不公平デアルト思フ、實際的ニモサウダシ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

サウシテ稅金ヲ取ツテ、本當ニ最低限度ノ  
遊興ト云フト語弊ガアルデセウガ、現在ノ  
「カフェー」「バー」ナドハ遊興デハナイ、一  
種ノ興奮場所ト云ヒマスカ、氣持ヲ興奮サ  
カ、私ハ茲ニ本當ニ不公平ガアルト思フノ  
デス、モウ一つ不公平ハ「カフェー」「バー」  
ヲ藝妓ト同ジヤウニ見テ居ルガ、藝妓ト云  
フモノハ一時間侍レバ、ソレニ對シテ線香  
ガ幾ラ、花代ガ幾ラトチヤント付ク、ソレ  
ダカラ是ハ何人モ當識デ考ヘテ見テ、一時  
間料理屋ニ行ツテ藝妓ガ來テ、三圓以下デ  
上ガルコトハ絶對ニアリマセヌ、デスカラ、  
是ハ免稅點ヲ設ケナクテモ設ケテモ同ジコ  
トデス、所ガ女給ノ方ハ、所謂「カフェー」  
「バー」ニ侍ル女ト云フモノハ、是ハ一時間  
幾ラノ名ニ囚ハレナイ、デスカラ多クハ平  
均スルナラバ、恐ラク一圓カ或ハ一圓四五  
十錢ノ程度ニ止ツテシマフモノダト思ヒマ  
ス、サウ云フモノニ免稅點ヲ設ケナイデ、  
サウシテ一夜ニ數十圓、絕對三三圓以下ニナ  
リツコナイヤウナ藝妓ノ如キモノヲ侍ベラ  
セルト、同様ノ課稅方針ヲ執ルト云フ、此ノ  
二ツガ私ハ遊興飲食稅ニ對シテ、矛盾デア  
リ不公平デアルト思フ、實際的ニモサウダシ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

サウシテ稅金ヲ取ツテ、本當ニ最低限度ノ  
遊興ト云フト語弊ガアルデセウガ、現在ノ  
「カフェー」「バー」ナドハ遊興デハナイ、一  
種ノ興奮場所ト云ヒマスカ、氣持ヲ興奮サ  
カ、私ハ茲ニ本當ニ不公平ガアルト思フノ  
デス、モウ一つ不公平ハ「カフェー」「バー」  
ヲ藝妓ト同ジヤウニ見テ居ルガ、藝妓ト云  
フモノハ一時間侍レバ、ソレニ對シテ線香  
ガ幾ラ、花代ガ幾ラトチヤント付ク、ソレ  
ダカラ是ハ何人モ當識デ考ヘテ見テ、一時  
間料理屋ニ行ツテ藝妓ガ來テ、三圓以下デ  
上ガルコトハ絶對ニアリマセヌ、デスカラ、  
是ハ免稅點ヲ設ケナクテモ設ケテモ同ジコ  
トデス、所ガ女給ノ方ハ、所謂「カフェー」  
「バー」ニ侍ル女ト云フモノハ、是ハ一時間  
幾ラノ名ニ囚ハレナイ、デスカラ多クハ平  
均スルナラバ、恐ラク一圓カ或ハ一圓四五  
十錢ノ程度ニ止ツテシマフモノダト思ヒマ  
ス、サウ云フモノニ免稅點ヲ設ケナイデ、  
サウシテ一夜ニ數十圓、絕對三三圓以下ニナ  
リツコナイヤウナ藝妓ノ如キモノヲ侍ベラ  
セルト、同様ノ課稅方針ヲ執ルト云フ、此ノ  
二ツガ私ハ遊興飲食稅ニ對シテ、矛盾デア  
リ不公平デアルト思フ、實際的ニモサウダシ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

サウシテ稅金ヲ取ツテ、本當ニ最低限度ノ  
遊興ト云フト語弊ガアルデセウガ、現在ノ  
「カフェー」「バー」ナドハ遊興デハナイ、一  
種ノ興奮場所ト云ヒマスカ、氣持ヲ興奮サ  
カ、私ハ茲ニ本當ニ不公平ガアルト思フノ  
デス、モウ一つ不公平ハ「カフェー」「バー」  
ヲ藝妓ト同ジヤウニ見テ居ルガ、藝妓ト云  
フモノハ一時間侍レバ、ソレニ對シテ線香  
ガ幾ラ、花代ガ幾ラトチヤント付ク、ソレ  
ダカラ是ハ何人モ當識デ考ヘテ見テ、一時  
間料理屋ニ行ツテ藝妓ガ來テ、三圓以下デ  
上ガルコトハ絶對ニアリマセヌ、デスカラ、  
是ハ免稅點ヲ設ケナクテモ設ケテモ同ジコ  
トデス、所ガ女給ノ方ハ、所謂「カフェー」  
「バー」ニ侍ル女ト云フモノハ、是ハ一時間  
幾ラノ名ニ囚ハレナイ、デスカラ多クハ平  
均スルナラバ、恐ラク一圓カ或ハ一圓四五  
十錢ノ程度ニ止ツテシマフモノダト思ヒマ  
ス、サウ云フモノニ免稅點ヲ設ケナイデ、  
サウシテ一夜ニ數十圓、絕對三三圓以下ニナ  
リツコナイヤウナ藝妓ノ如キモノヲ侍ベラ  
セルト、同様ノ課稅方針ヲ執ルト云フ、此ノ  
二ツガ私ハ遊興飲食稅ニ對シテ、矛盾デア  
リ不公平デアルト思フ、實際的ニモサウダシ  
シテモ私ハ大藏當局ニ御考ヲ願ハナケレバ  
ナラヌモノダト思ヒマス、ソレハ遊興飲食  
稅デアリマス、ドウモ今度ノ改正案ニ依リ  
マスレバ、下ニ重ク、上ニ輕イ、最近ノ實情  
ヲ見マシテモ、大臣ハ恐ラク御承知デハナ  
イカモ知レマセヌガ、先づ東京ニ於ケル一  
屋ノ空イテ居ル所ガナイト云フ現状デアリ  
流ドコロノ料理屋、待合ヲ御覽下サルト分  
リマスガ、毎月一日ノ興亞奉公日以外、部  
デアリマス、サウ云フ一人當リ數十圓ノ費  
費

本ノ料理店ト違ヒマシテ、勘定ハ隨時ニ出  
來ルト云フコトニナツテ居リマスノデ、實際

一人當リ五圓以上ノ消費ヲシテ居ルニ拘ラ

ズ、途中勘定ヲ二度ニ切ルトカ、三度ニ切

ルトカ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、免稅

點以下ノ計算ニナツテ居ルモノガ、大部分

ノヤウデゴザイマシテ、東京市内等ニ於キ

マシテ、數百人ノ女給ノ居ル所デモ、餘リ

多クノ遊興飲食稅ヲ納メテ居ナイト云フ狀

況デゴザイマス、一面ニ於テ藝妓ノ花代ト

違ヒマシテ、「カフェー」等ニ於キマシテハ、

女給ニ對スル「チップ」ト云フノハ、消費者

ニ於テ相當出シテ居ルノデアリマスケレド

モ、ソレノ調査ト云フモノハ事實上出來マ

セヌ、此ノ點ヲ考慮ニ入レテ見マスト、相

當藝妓ノ花代トノ間ニ於キマシテ、課率ノ

上デ輕減セラレテ居ルト見ラルノデアリ

マシテ、大體此ノ度ノ提案ノ通りデ、兩者

略、權衡ヲ得テ居ルノデハナカラウカト考

ヘテ居ル次第アリマス

○山本委員 遊興飲食稅ノ問題ニ付テハ、

是以上申上ゲルト結局議論ニ瓦リマスカラ

私ハ此ノ程度ニ止メテ置キマスガ、課稅ノ

上ニ於テ餘程慎重ニ御考慮ニナル方ガ宜カ

ラウト思ヒマスノデ、希望ダケヲ申上ゲテ

置キマス、私ノ質問ハ商工當局ニ對スル分

ガ殘ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ他ノ部

分モ残ツテ居ルノデアリマスケレドモ、理

事カラノ御注意デ、ドウモ時間ガ長クナツ

テ困ルト云フ御話ニアリマスカラ、此ノ程

度デ打切りマシテ、商工當局ニ對スルニニ

ノ質問ダケ保留サセテ戴キマス

○堀切委員長 ソレデハ今日ハ此ノ程度デ

散會スルコトニ致シマシテ、明日ハ又午前

十時ヨリ開會致シマス  
午後四時三分散會

三三〇 三二五 誤 正誤  
理 小笠原委員長代 球谷正義  
代理

衆議院所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄第十五回中  
正誤